



ユニプレス株式会社

2019年度第2四半期決算報告

2019年11月15日 代表取締役 社長執行役員 吉澤 正信



UNIPRES CORPORATION



2019年度第2四半期決算について

2019年度見通しについて

将来に向けた基盤作り



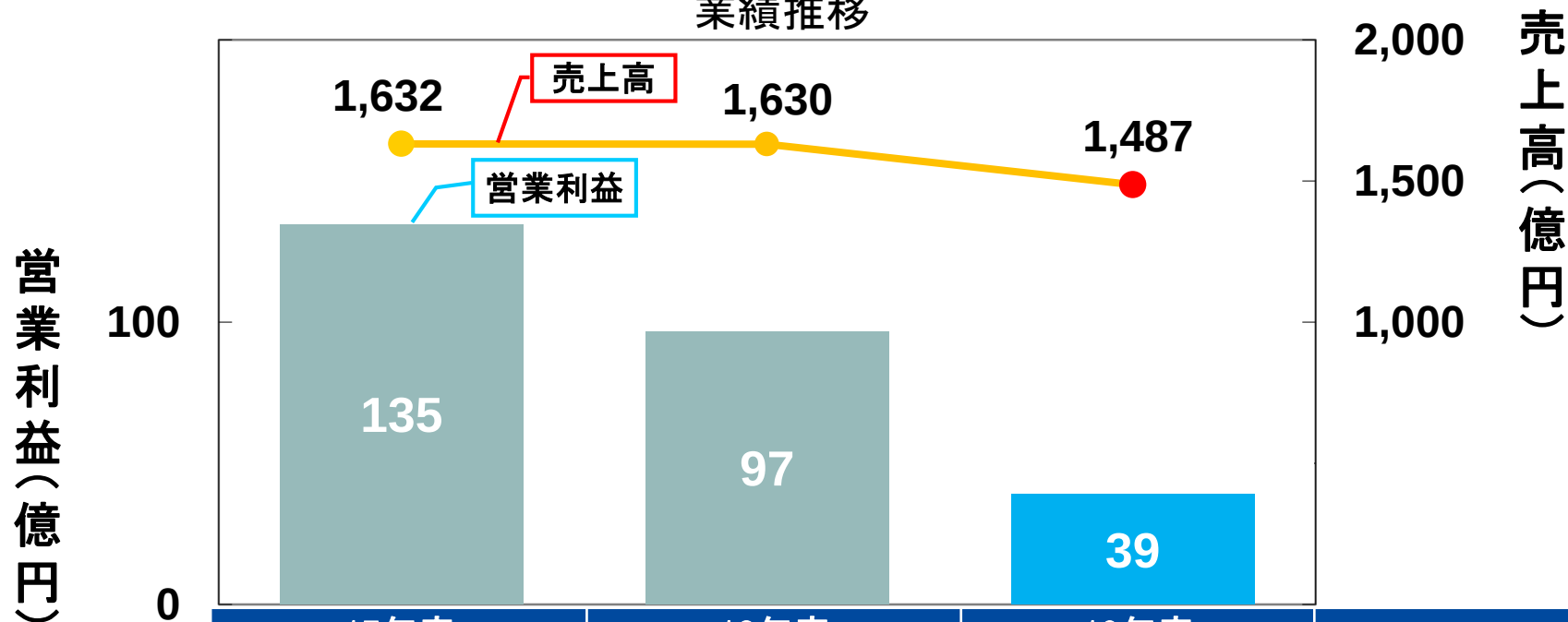
2019年度第2四半期決算について

1. 売上高は、得意先の減産影響及び為替換算影響等により減収

2. 営業利益は、得意先の減産影響等により減益

2019年度第2四半期連結決算サマリー

業績推移



	17年度 第2四半期	18年度 第2四半期 (A)	19年度 第2四半期 (B)	(B) - (A)
売上高	1,632	1,630	1,487	-143
営業利益	135	97	39	-58
経常利益	141	100	38	-62
親会社株主に帰属 する四半期純利益	81	60	13	-47

※ 売上高は、得意先の減産影響及び為替換算影響等により、143億円減収

※ 営業利益は、得意先の減産影響等により、58億円減益

製品群別連結売上構成

(億円)

	2018年度第2四半期		2019年度第2四半期		売上高 増減額	構成比 増減
	売上高	構成比	売上高	構成比		
車体プレス製品	1,349	82.7%	1,254	84.3%	-95	+1.6%
トランスミッション製品	244	15.0%	208	14.0%	-36	-1.0%
樹脂製品	19	1.2%	19	1.3%	0	+0.1%
その他	18	1.1%	6	0.4%	-12	-0.7%
合計	1,630	100%	1,487	100%	-143	—

※ 構成比に大きな変化は無し

得意先別連結売上構成

(億円)

	2018年度第2四半期		2019年度第2四半期		構成比 増減
	売上高	構成比	売上高	構成比	
日産自動車関連 小計	1,366	83.8%	1,241	83.5%	-0.3%
東風汽車	291	17.9%	267	18.0%	+0.1%
日産自動車	206	12.6%	204	13.7%	+1.1%
北米日産	184	11.3%	194	13.0%	+1.7%
ジャトコ(海外拠点含む)	194	11.9%	166	11.2%	-0.7%
メキシコ日産自動車	174	10.7%	162	10.9%	+0.2%
欧州日産自動車	145	8.9%	96	6.5%	-2.4%
日産車体	74	4.5%	56	3.8%	-0.7%
マレリ(海外拠点含む)	53	3.3%	41	2.8%	-0.5%
ルノー日産インドニア	12	0.7%	31	2.1%	+1.4%
タイ日産自動車	13	0.8%	13	0.9%	+0.1%
鄭州日産	7	0.4%	2	0.1%	-0.3%
インドネシア日産	3	0.2%	1	0.1%	-0.1%

※ 欧州日産向けの売上減等により、構成比は0.3%減少



得意先別連結売上構成

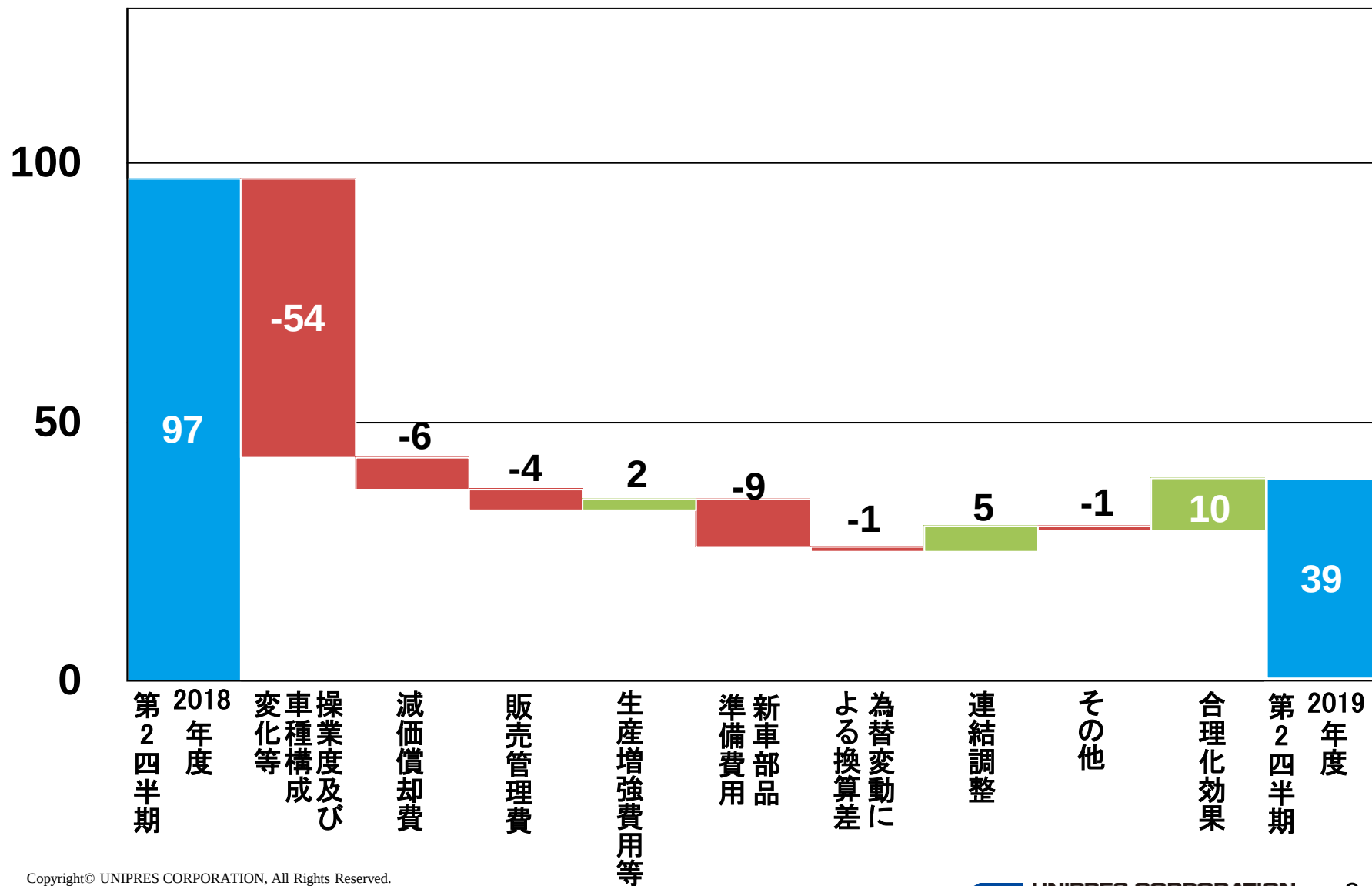
		2018度第2四半期		2019度第2四半期		構成比 増減	(億円)
		売上高	構成比	売上高	構成比		
日産自動車関連以外の得意先 小計		264	16.2%	246	16.5%	+0.3%	
内)ホンダ	米国ホンダ	31.9	2.0%	32.2	2.2%	+0.2%	
	英国ホンダ	27.8	1.7%	20.0	1.3%	-0.4%	
	メキシコホンダ	15.4	0.9%	18.2	1.2%	+0.3%	
	本田技研工業	14.7	0.9%	14.4	1.0%	+0.1%	
	インドネシアホンダ	9.9	0.6%	5.7	0.4%	-0.2%	
ルノー	ルノー	26.6	1.6%	30.5	2.1%	+0.5%	
	東風ルノー	19.0	1.2%	3.9	0.3%	-0.9%	
	ルノーインド	0.0	0.0%	0.1	0.0%	0.0%	
マツダ	マツダ	11.6	0.7%	11.9	0.8%	+0.1%	
	メキシコマツダ	7.2	0.4%	3.3	0.2%	-0.2%	
アイシン・エイ・ダブリュ (海外拠点含む)		13.5	0.8%	13.3	0.9%	+0.1%	
三菱自動車工業(海外拠点含む)		1.7	0.1%	11.2	0.8%	+0.7%	
PSA		-	-	10.9	0.7%	+0.7%	
ダイナックス(海外拠点含む)		13.8	0.8%	9.8	0.7%	-0.1%	
SUBARU		7.3	0.4%	7.5	0.5%	+0.1%	
スズキ(海外拠点含む)		0.8	0.0%	4.5	0.3%	+0.3%	
NSKワーナー		2.5	0.2%	2.1	0.1%	-0.1%	
ダイハツ工業		1.4	0.1%	1.6	0.1%	0.0%	
日野自動車(海外拠点含む)		1.1	0.1%	1.4	0.1%	0.0%	
武蔵精密工業		0.7	0.0%	1.2	0.1%	+0.1%	
UDトラックス		1.3	0.1%	1.2	0.1%	0.0%	
いすゞ自動車(海外拠点含む)		0.9	0.1%	1.0	0.1%	0.0%	

※ 三菱自動車への拡販及びユーエムコーポレーションの子会社化によるルノー及びPSA向け売上の増加等により、構成比は0.3%増加



営業利益の増減要因

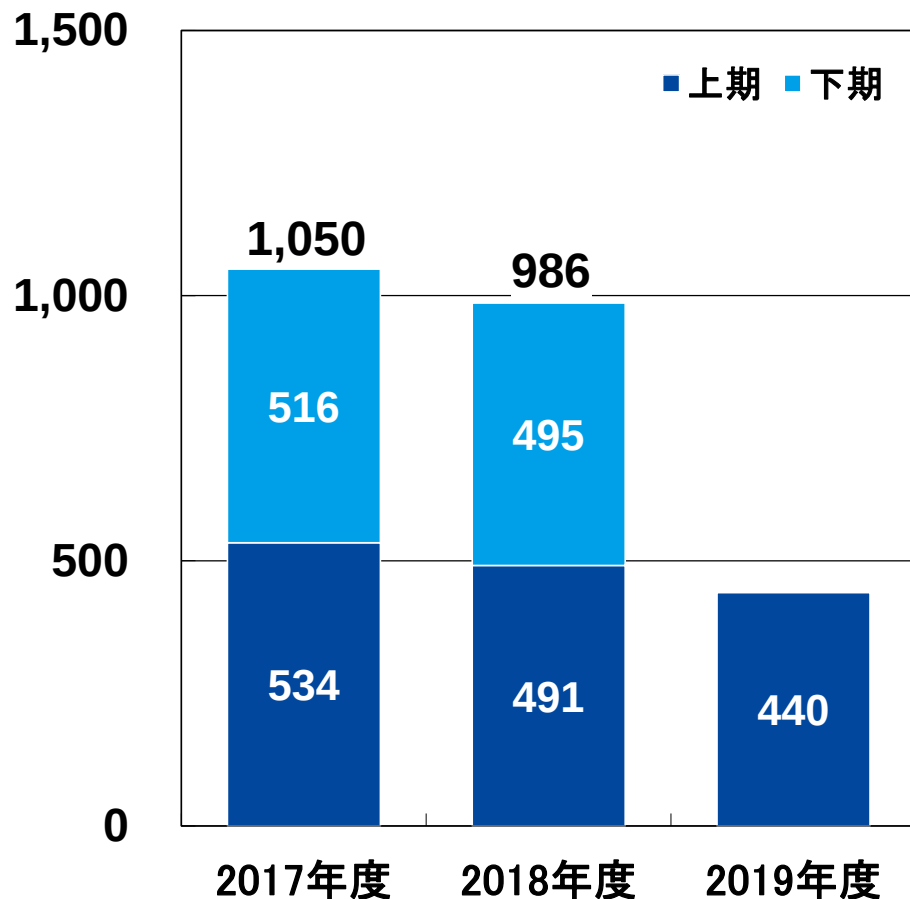
(億円)



地域別売上高・営業利益(日本)

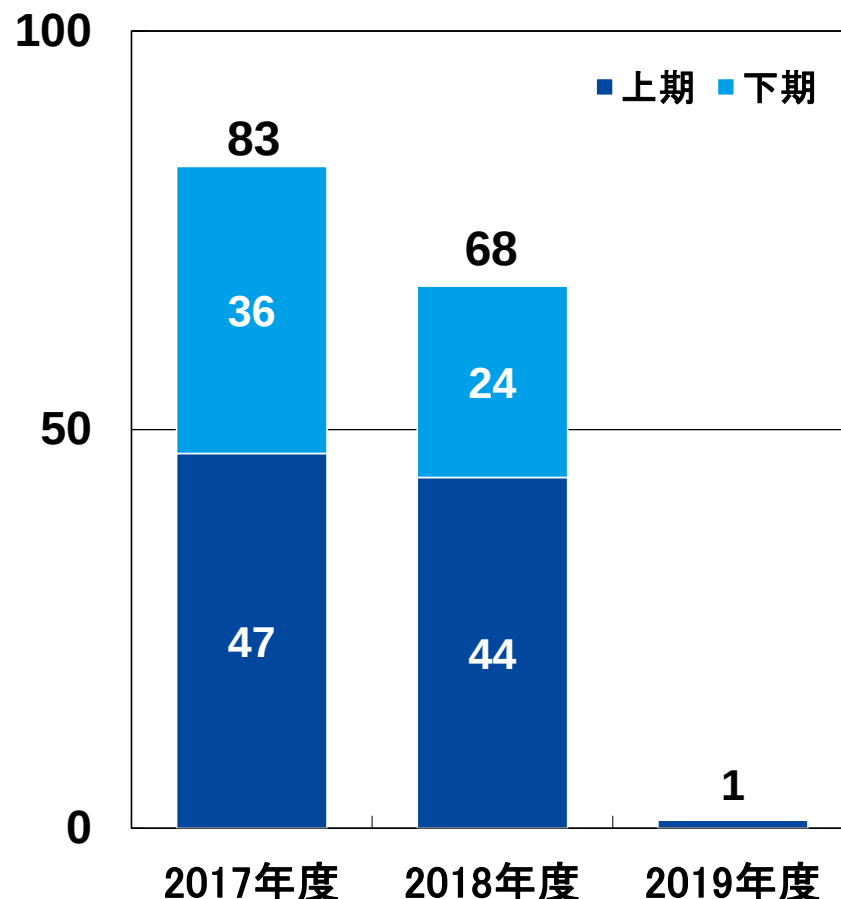
(億円)

売上高



(億円)

営業利益



※ 売上高は、得意先の減産影響等により、10.4%減収

※ 営業利益は、97.7%減益

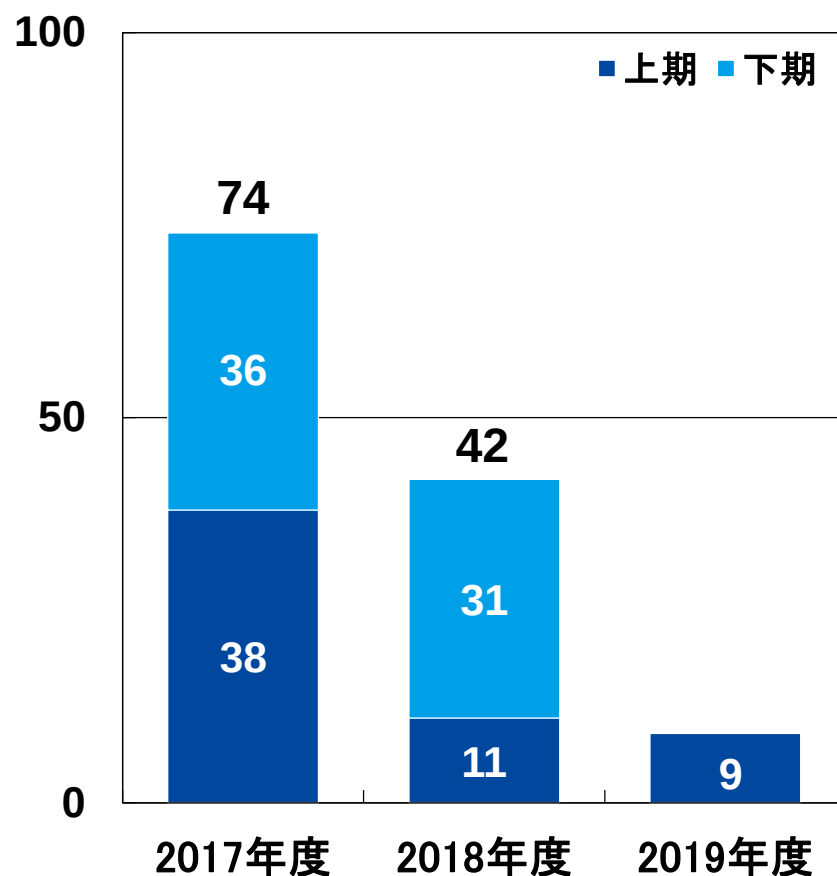
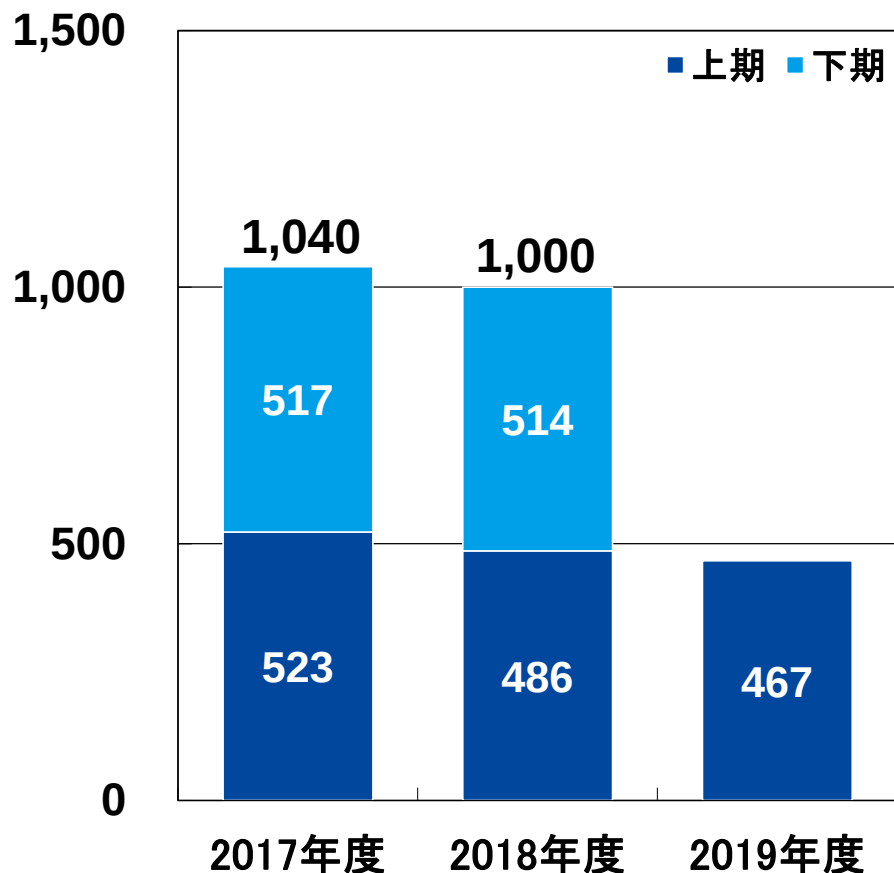
地域別売上高・営業利益(米州)

(億円)

売上高

(億円)

営業利益



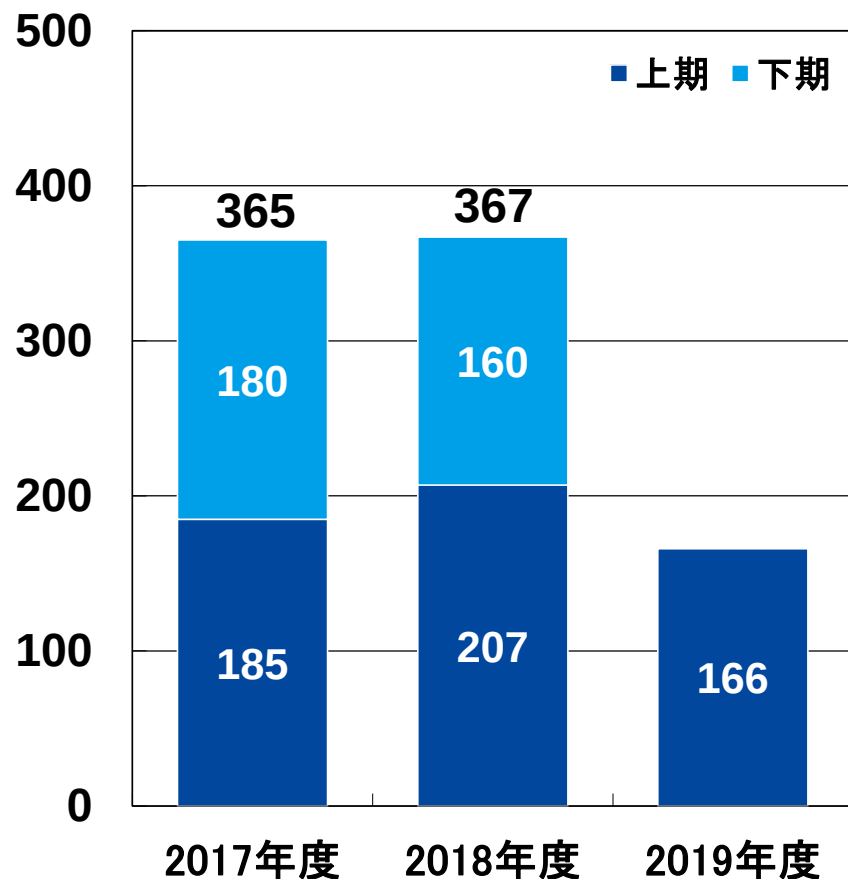
※ 売上高は、得意先の減産影響及び為替換算影響等により、3.9%減収

※ 営業利益は、売上減の影響により、18.2%減益

地域別売上高・営業利益(欧州)

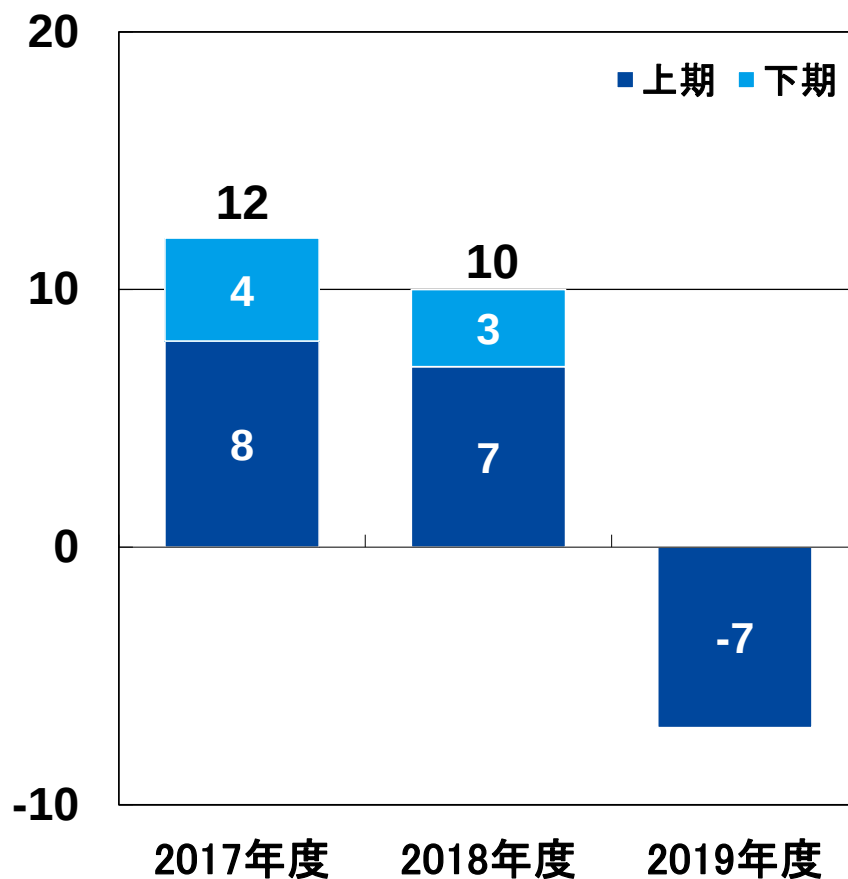
(億円)

売上高



(億円)

営業利益



※ 売上高は、減産影響及び為替換算影響等により、19.8%減収

※ 営業利益は、7億円の損失

地域別売上高・営業利益(アジア)

(億円)

売上高

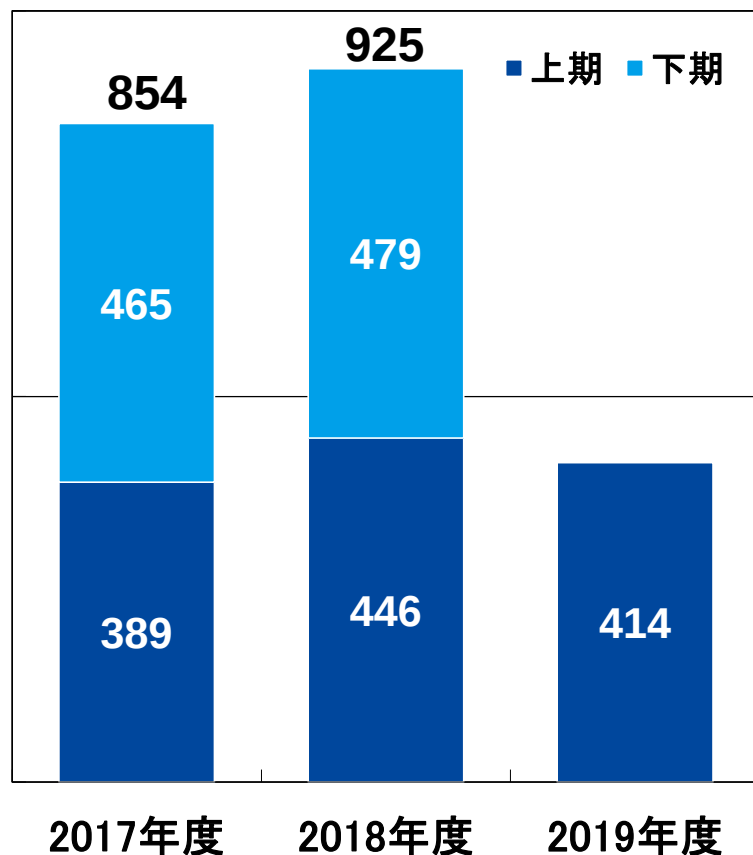
(億円)

営業利益

1,000

500

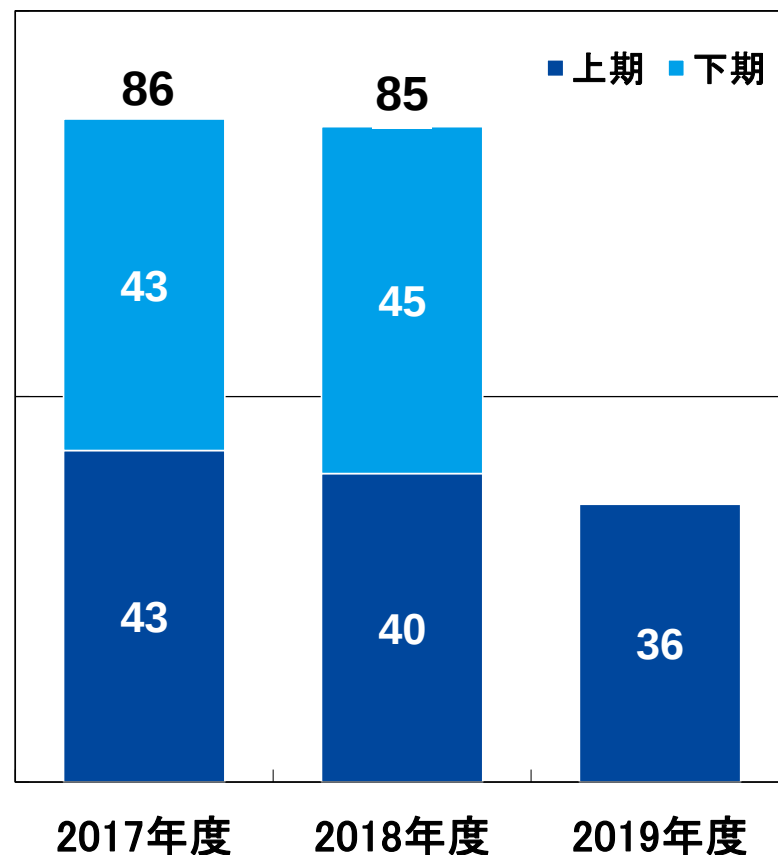
0



100

50

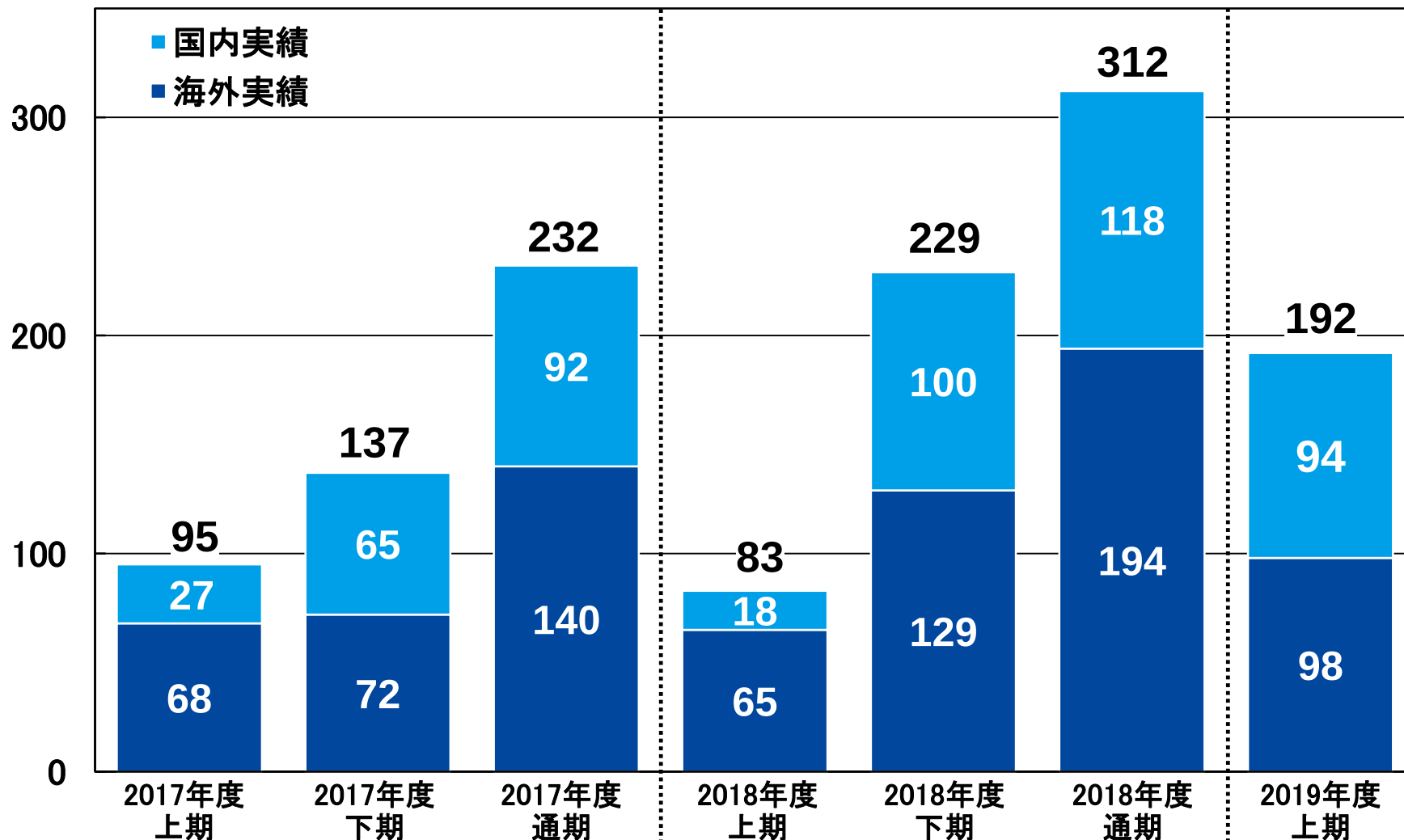
0



※ 売上高は、為替換算影響等により、7. 2%減収

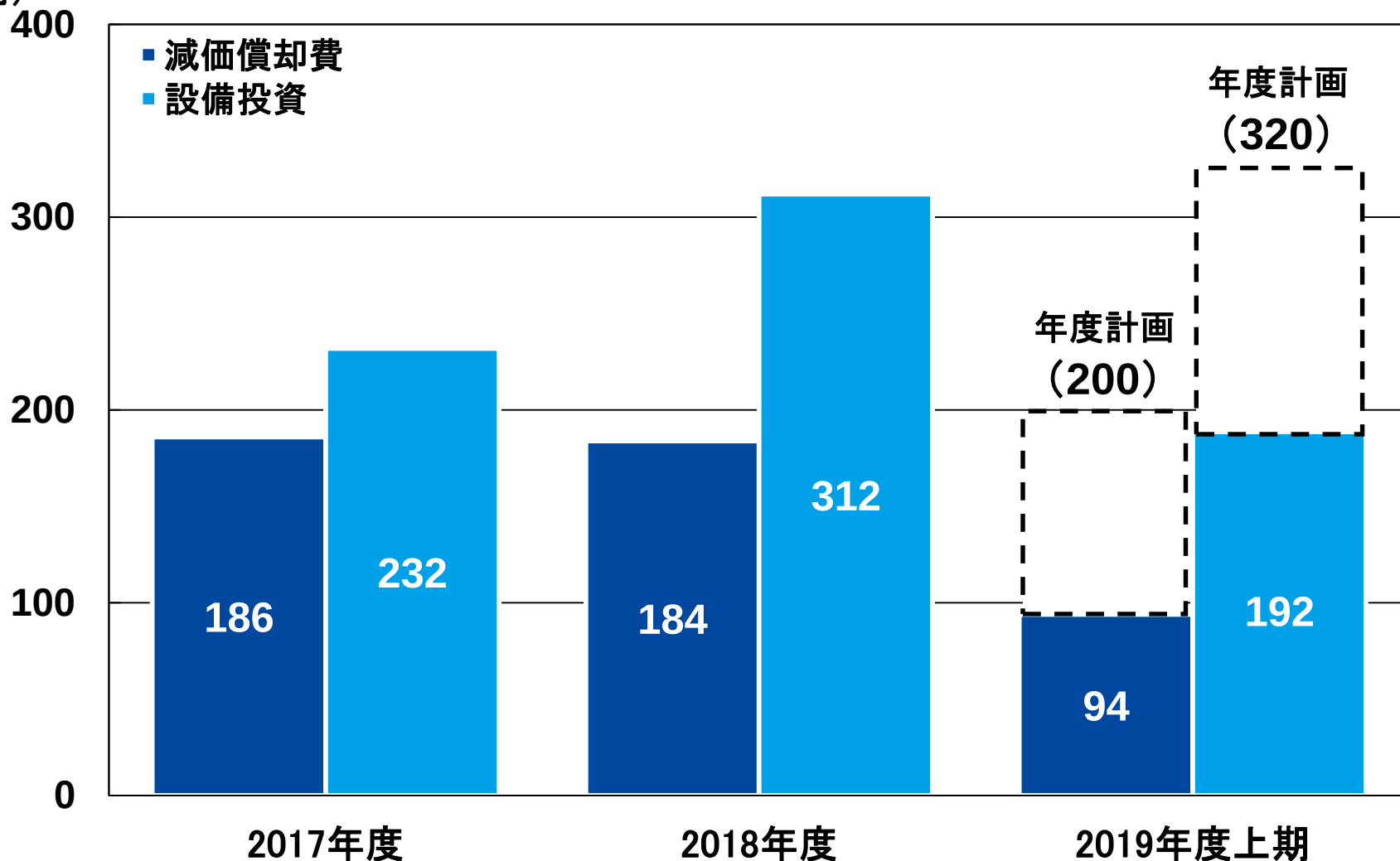
※ 営業利益は、売上減の影響により、10. 0%減益

(億円)

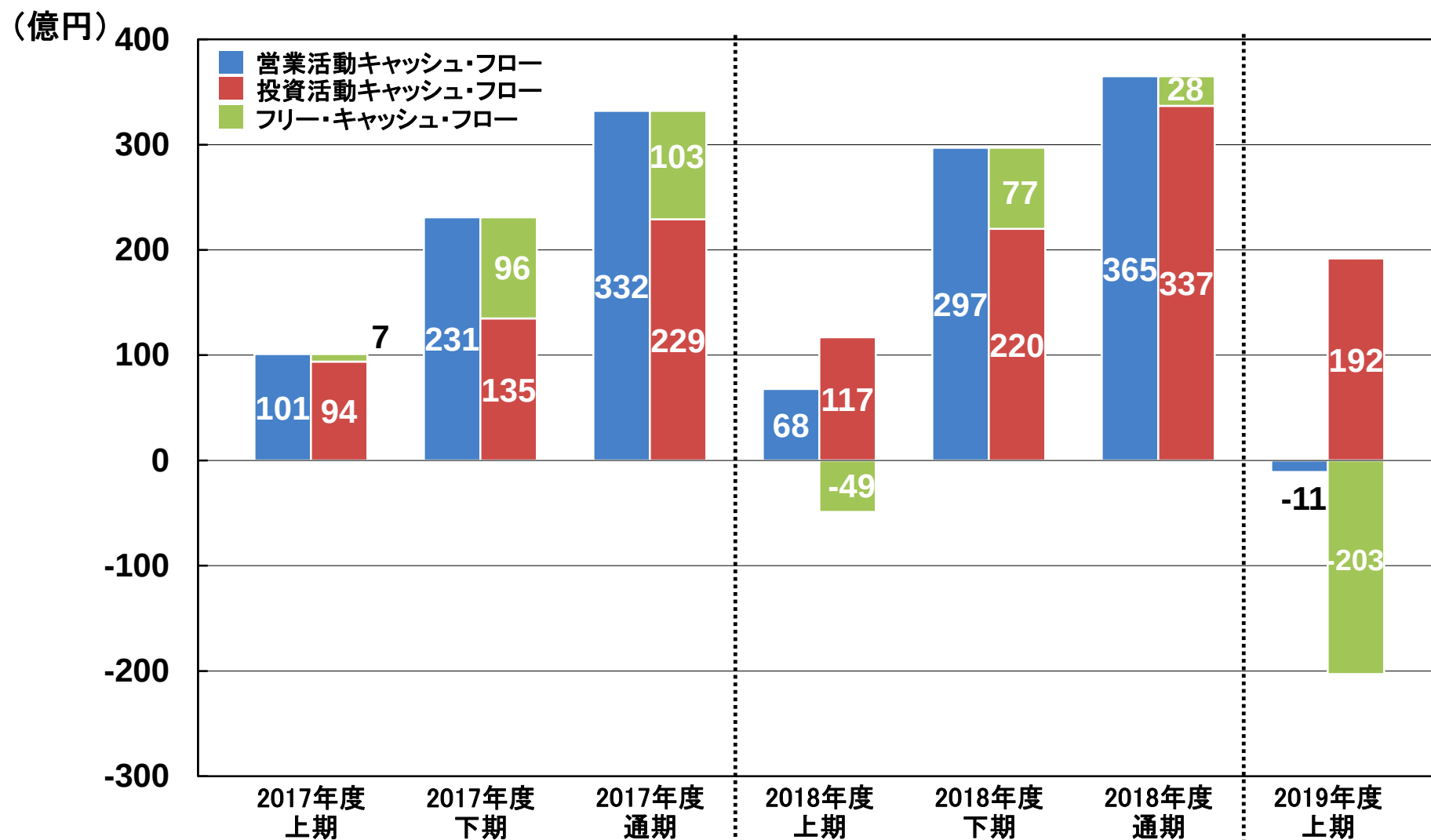


設備投資・減価償却費推移

(億円)

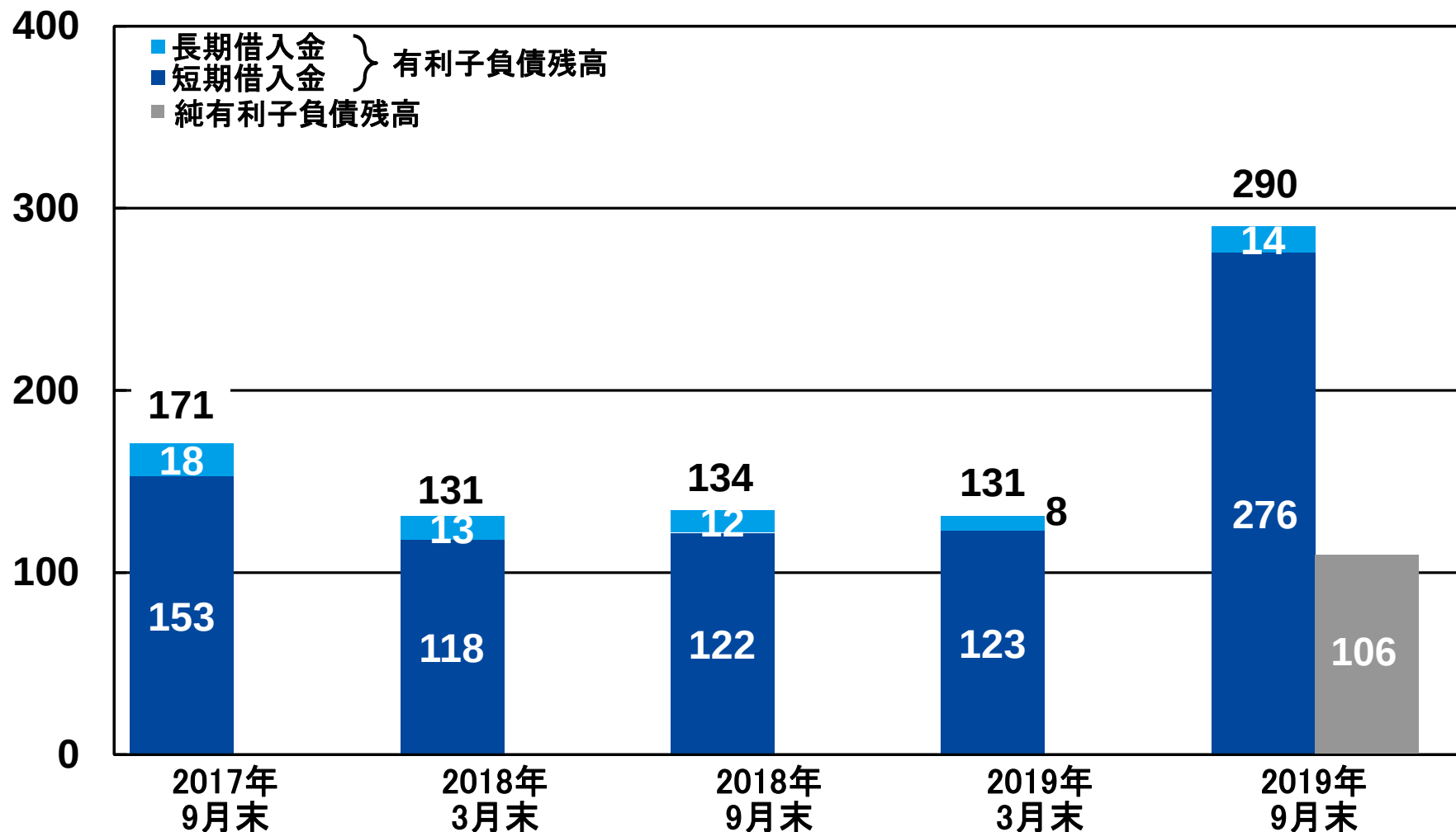


※ 減価償却費・設備投資ともに、ほぼ計画通り



有利子負債・純有利子負債残高の推移

(億円)

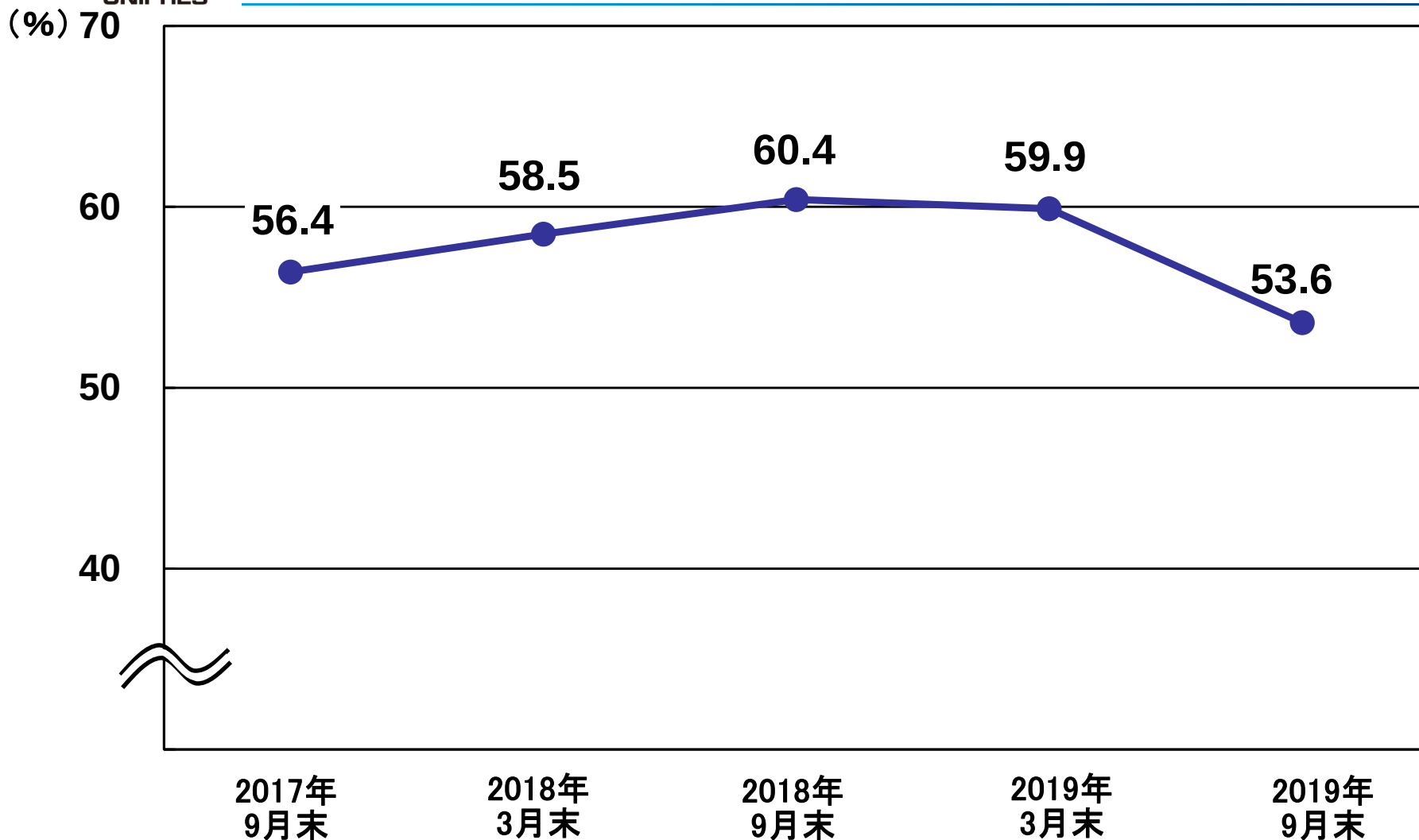


※ 有利子負債は、前年度末に対して159億円増加

※ 現預金を含めた純有利子負債は、106億円



自己資本比率の推移



※ 自己株式の取得等により、前年度末に対し6.3%減の53.6%



2019年度見通しについて

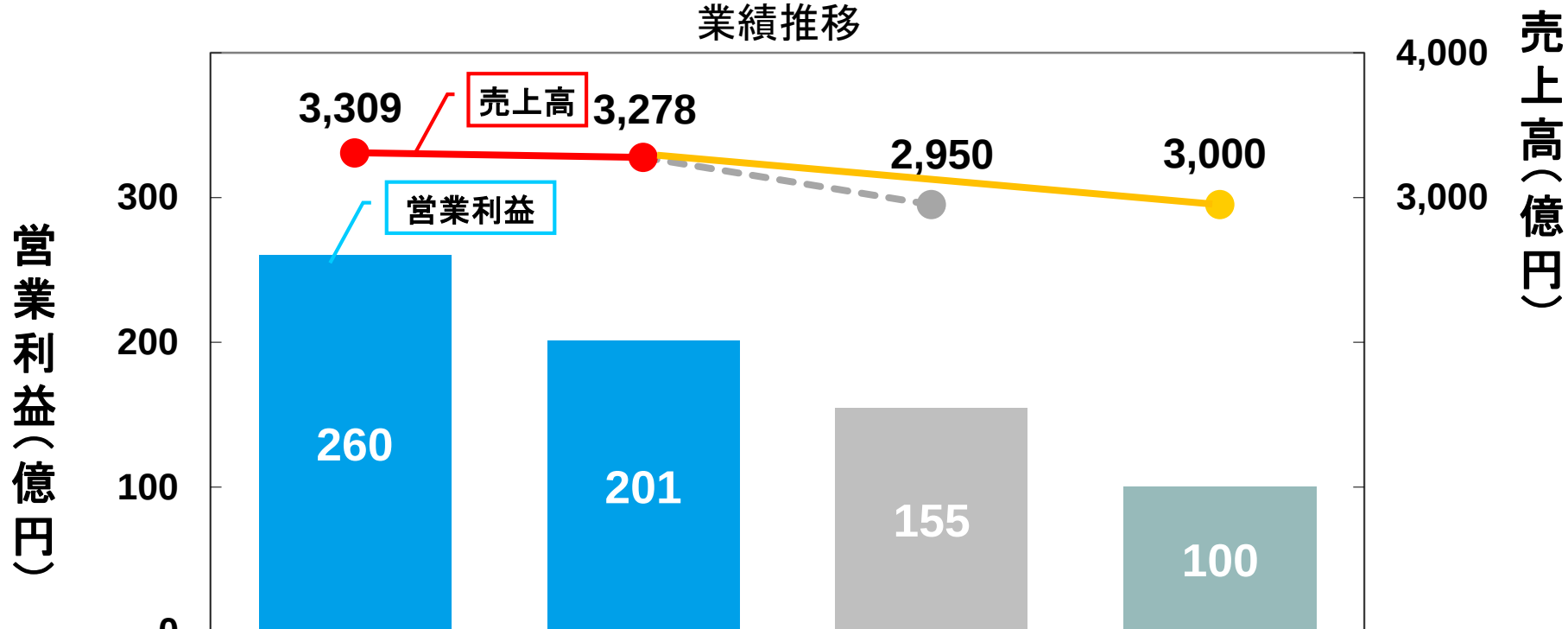
1. 売上高は得意先の減産影響及び為替換算影響等により減収

2. 営業利益は売上減の影響により減益

3. 生産基盤強化の為、高水準の設備投資を計画

2019年度連結業績計画サマリー

業績推移



	17年度	18年度(A)	19年度当初計画	19年度(B)	(B)-(A)
売上高	3,309	3,278	2,950	3,000	-278
営業利益	260	201	155	100	-101
経常利益	264	210	160	100	-110
親会社株主に帰属する当期純利益	159	129	100	55	-74

営業利益の増減見通し

(億円)

250

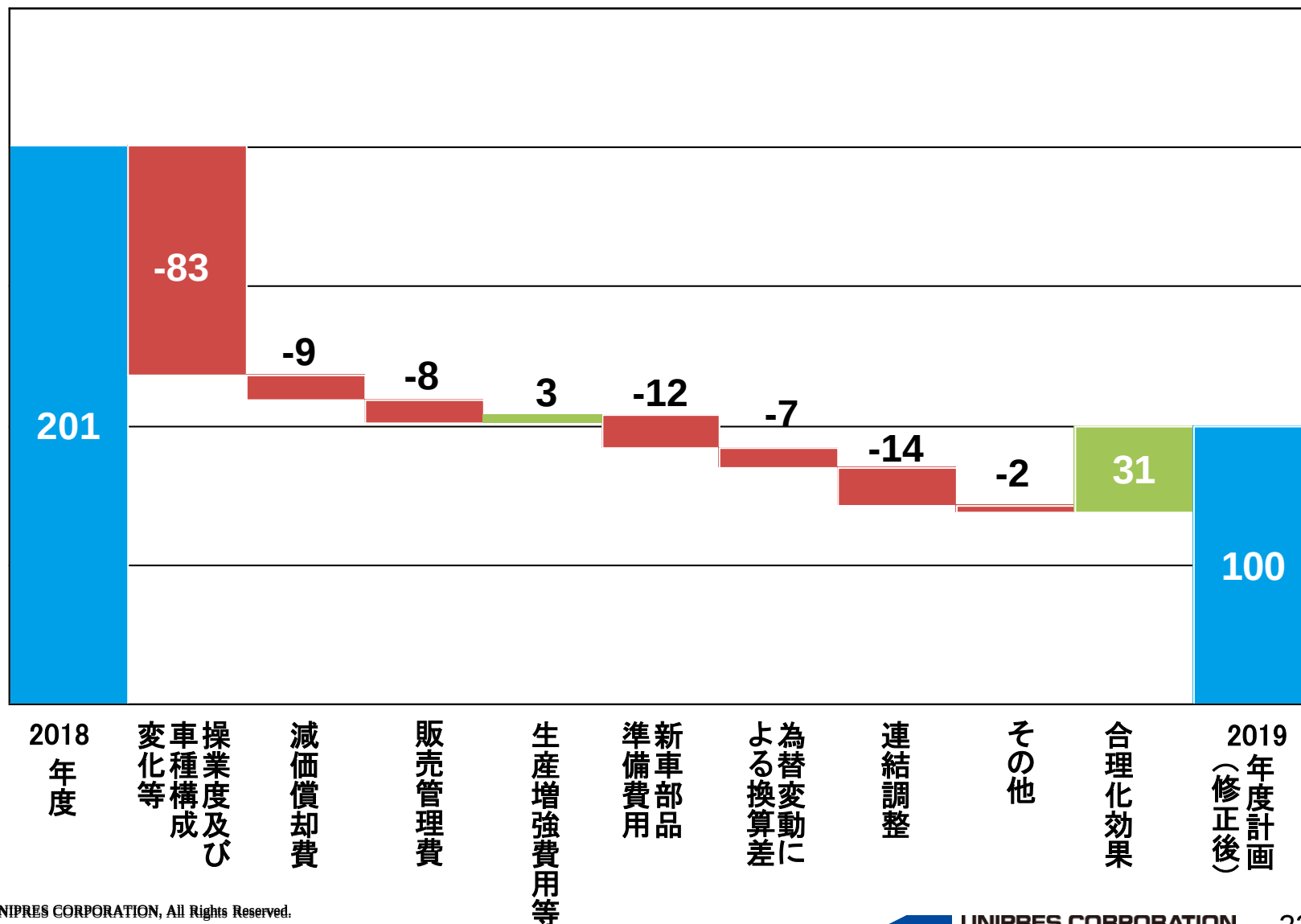
200

150

100

50

0



地域別売上高・営業利益(日本)

(億円)

売上高

(億円)

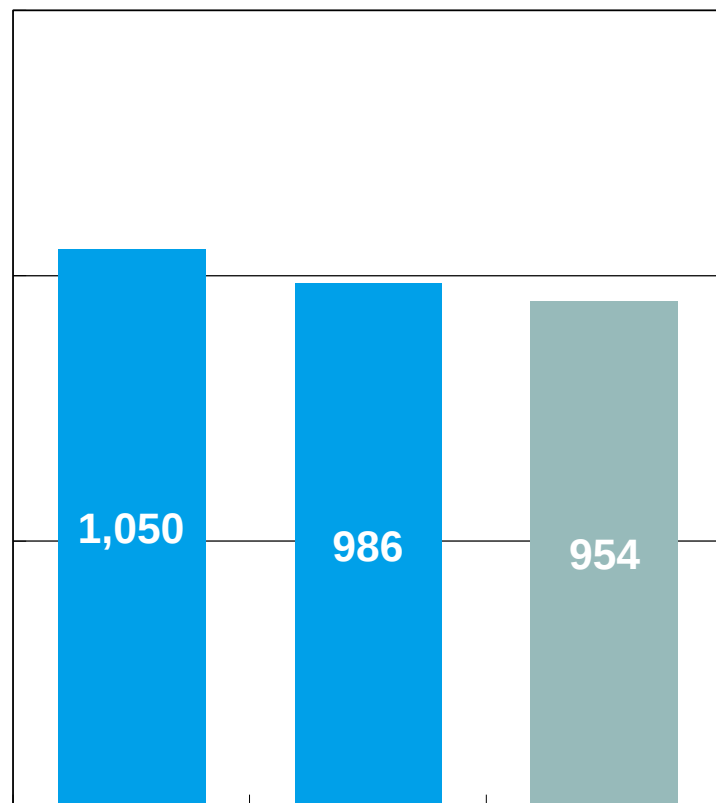
営業利益

1,500

1,000

500

0



2017年度

2018年度

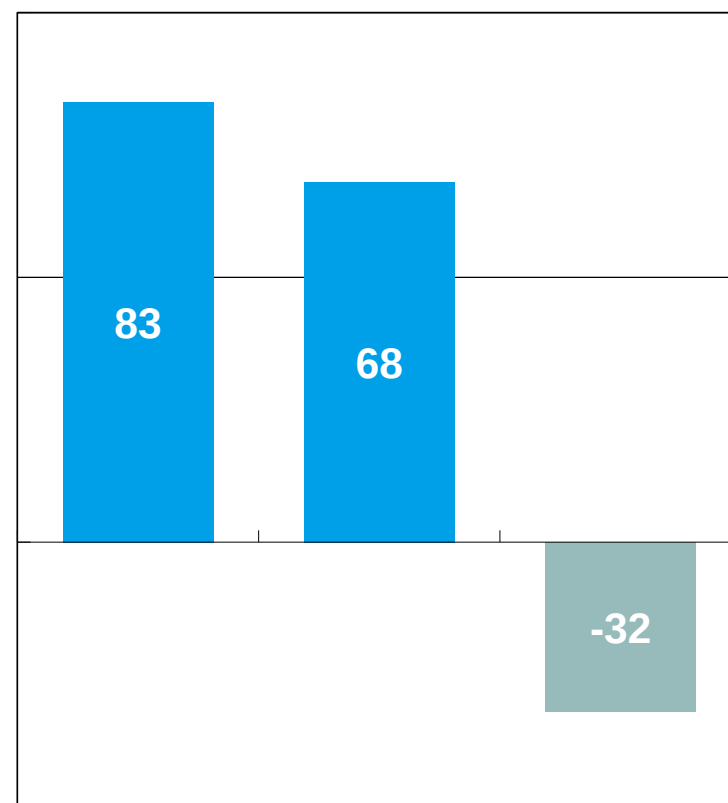
2019年度
計画(修正後)

100

50

0

-50



2017年度

2018年度

2019年度
計画(修正後)

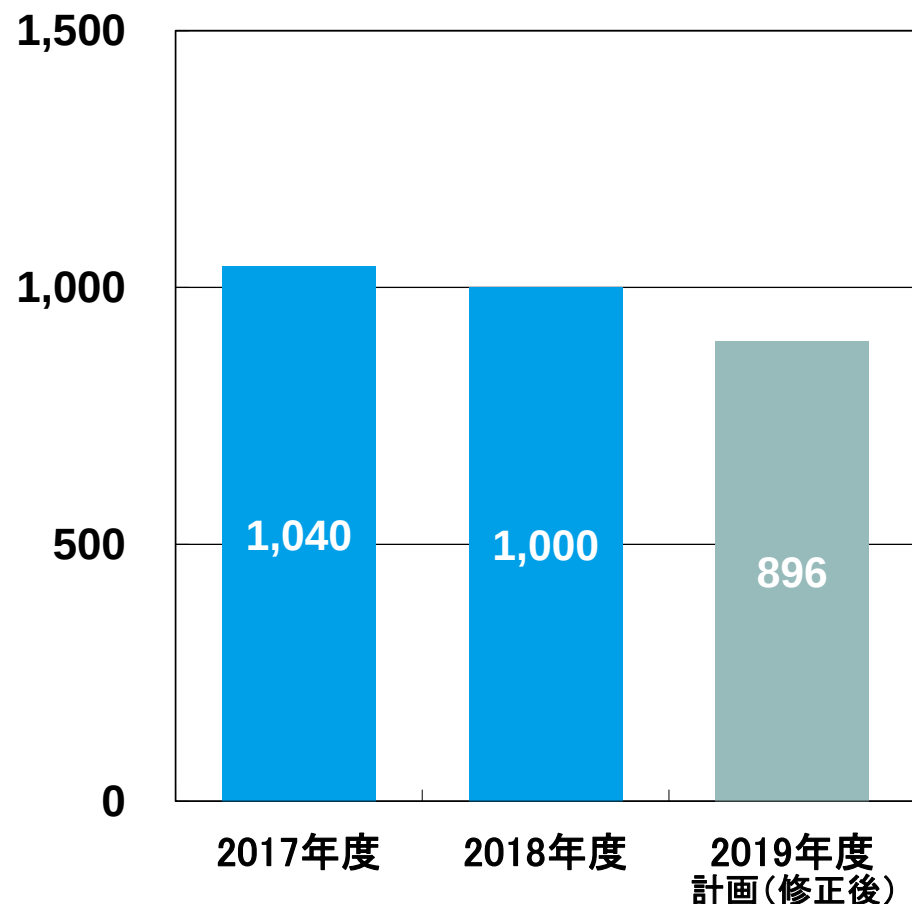
※ 売上高は、得意先の減産影響等により、減収を計画

※ 営業利益は、移転価格税制の影響等により、欠損の見通し

地域別売上高・営業利益(米州)

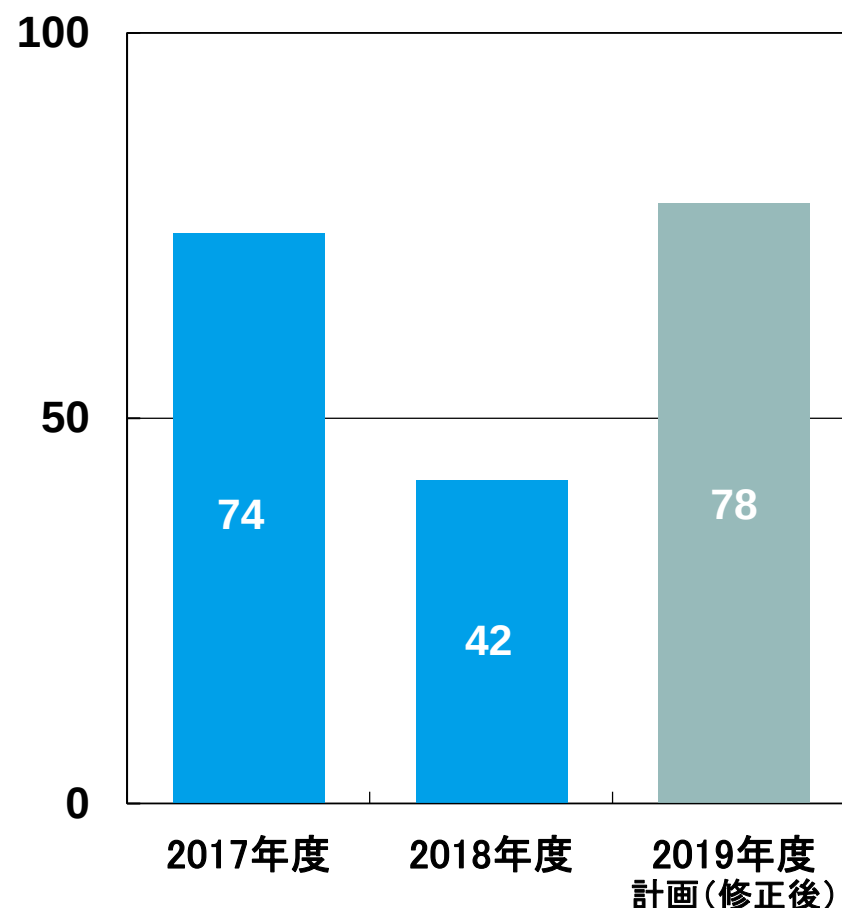
(億円)

売上高



(億円)

営業利益



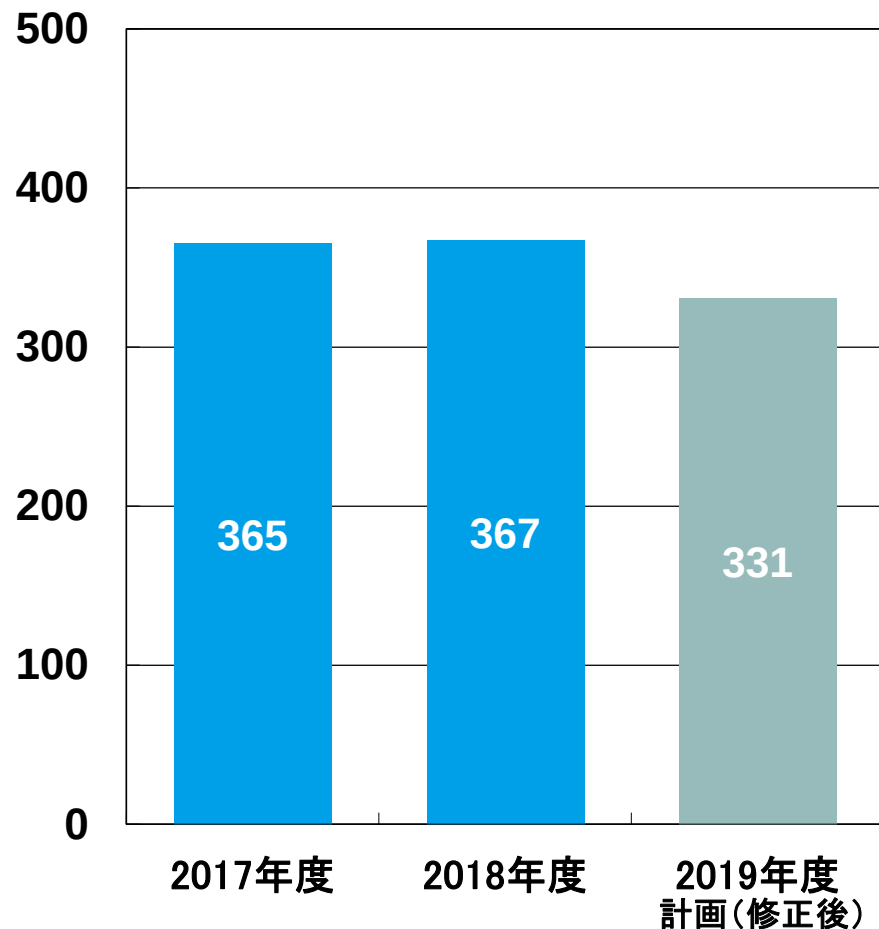
※ 売上高は、得意先の減産影響及び為替換算影響等により、減収を計画

※ 営業利益は、移転価格税制の影響等により、増益を計画

地域別売上高・営業利益(欧州)

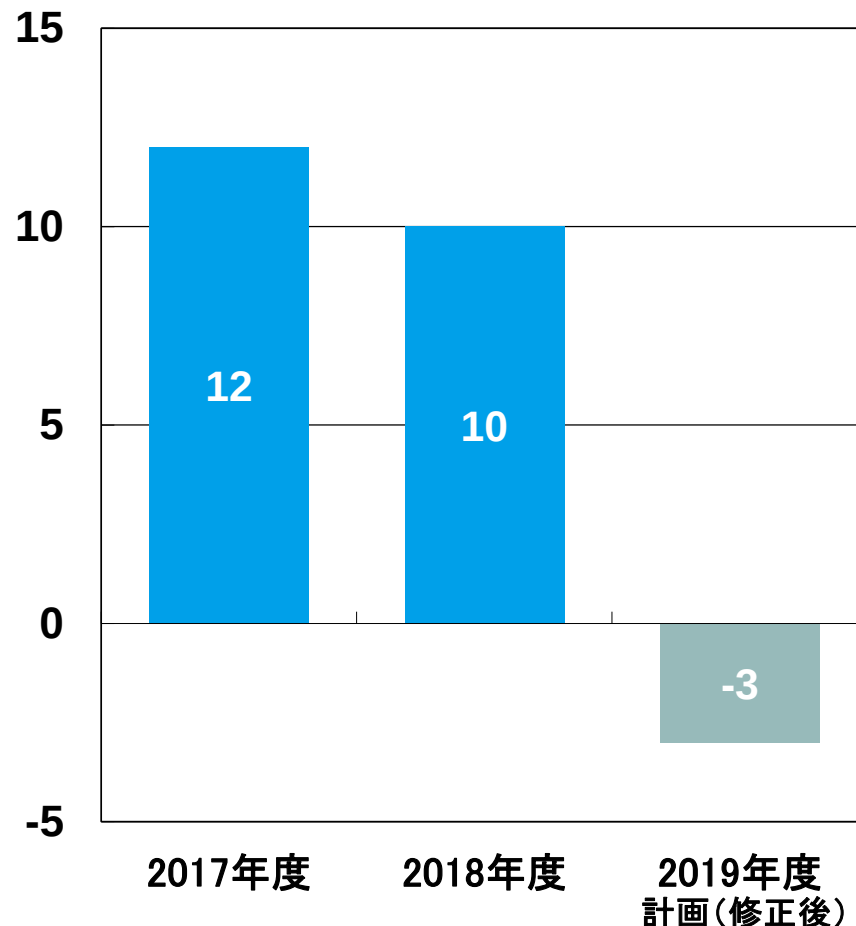
(億円)

売上高



(億円)

営業利益



※ 売上高は、ユーエムコーポレーションの子会社化等の影響はあるものの、得意先の減産影響及び為替換算影響等により、減収を計画
 ※ 営業利益は、欠損の見通し

地域別売上高・営業利益(アジア)

(億円)

売上高

(億円)

営業利益

1,000

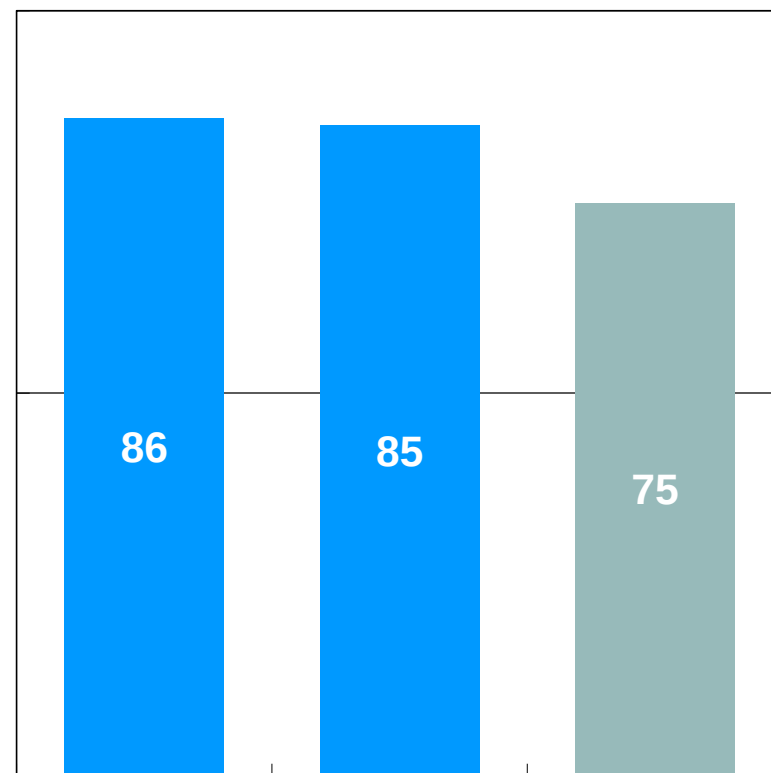
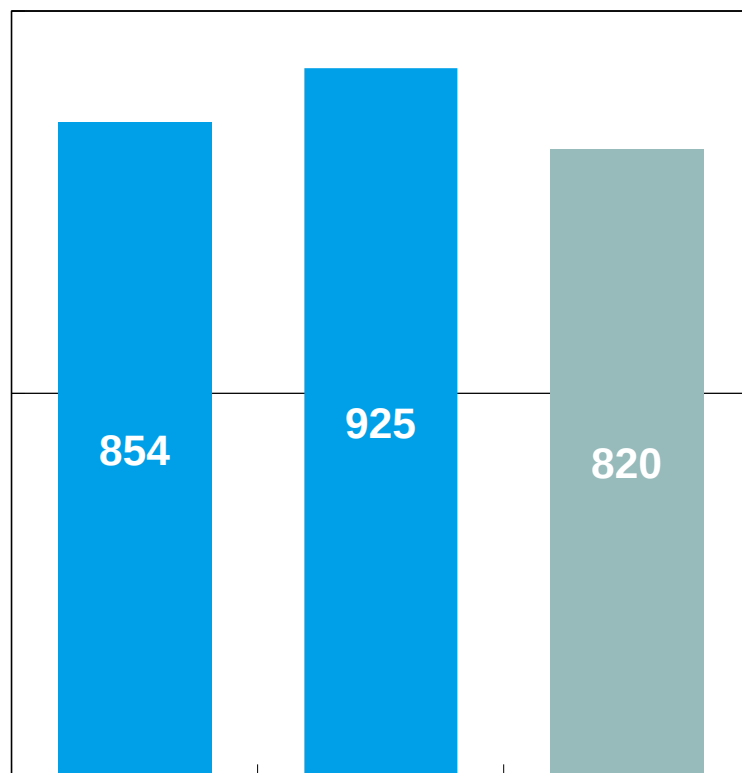
100

500

50

0

0



2017年度

2018年度

2019年度
計画(修正後)

2017年度

2018年度

2019年度
計画(修正後)

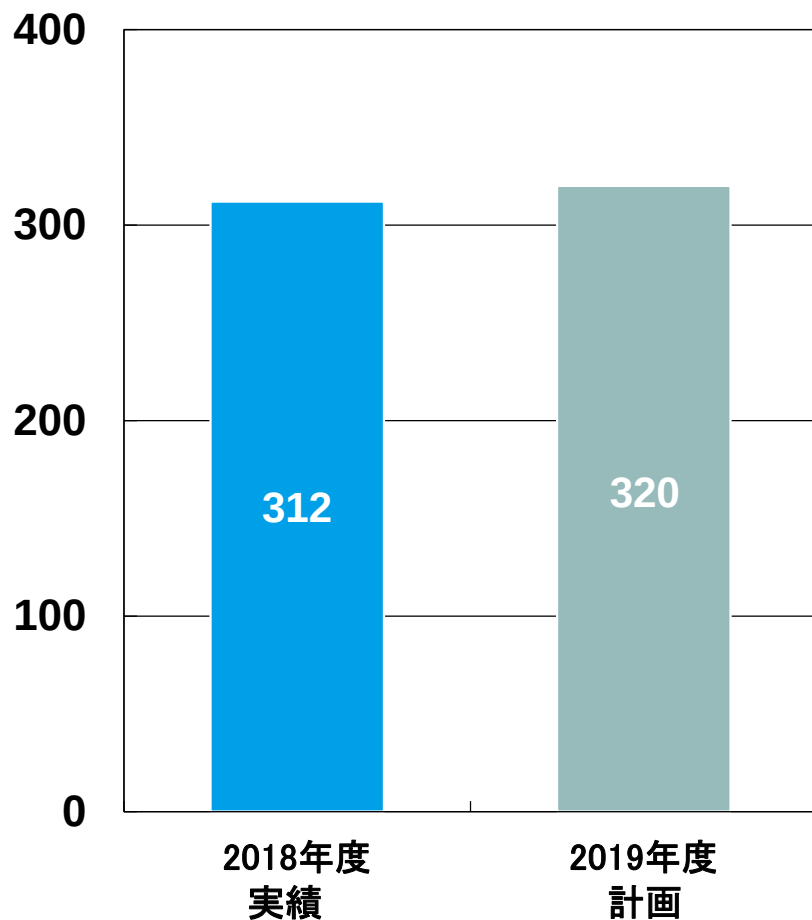
※ 売上高は、為替換算影響等により、減収を計画

※ 営業利益は、減益を計画

設備投資・減価償却費計画

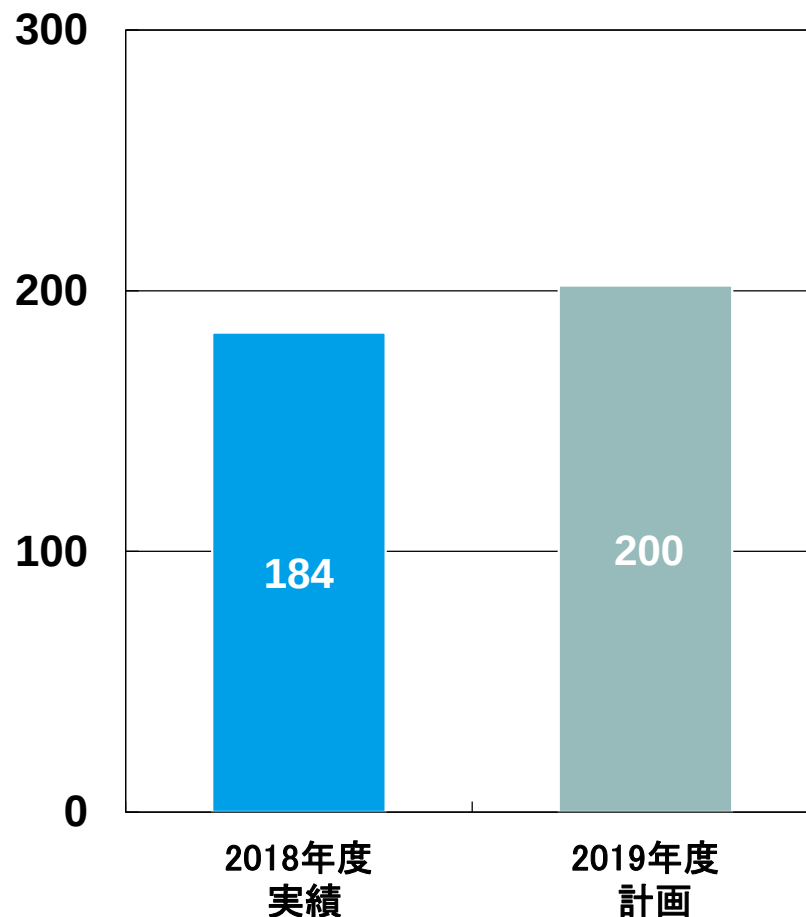
(億円)

【設備投資】



(億円)

【減価償却費】



※ 設備投資は、ホットスタンプの導入等により、8億円の増加。減価償却費は、16億円の増加
 ※ 設備投資・減価償却費ともに当初計画から変更なし

2019年5月15日～8月27日に自己株式の取得を実施

自己株式の取得 実施内容

- 取得した株式の総額 2,986,900株
- 株式の取得価額の総額 4,999,970,900円

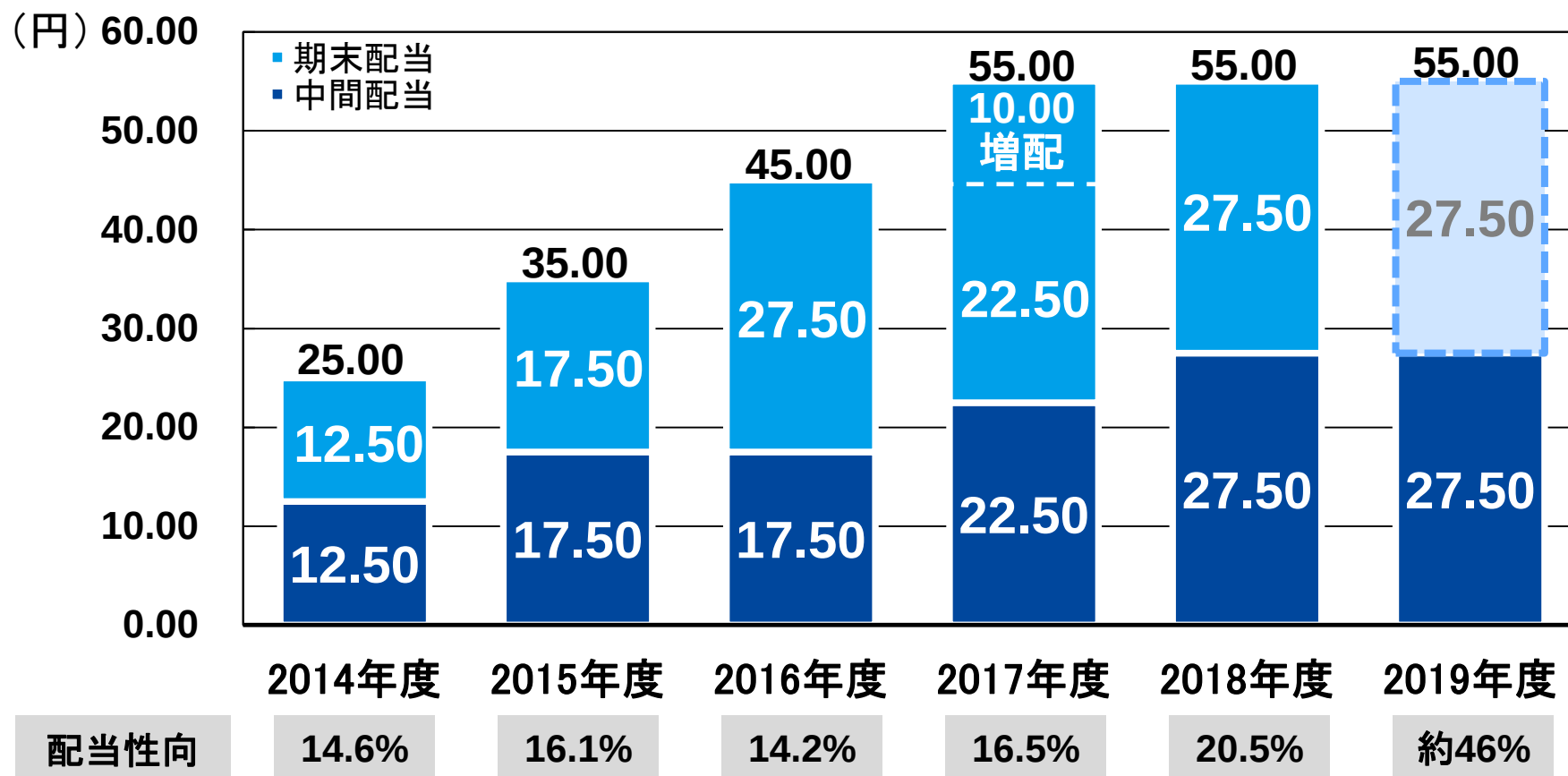
(5月14日開催の取締役会における決議事項)

- 取得株式の総数 上限320万株
- 取得価額の総額 上限50億円



自己株式取得は今後も状況をみながら継続的に検討

業績の下方修正はするものの、従来からの方針を堅持し、
2019年度は一株55円を維持する計画





将来に向けた基盤作り

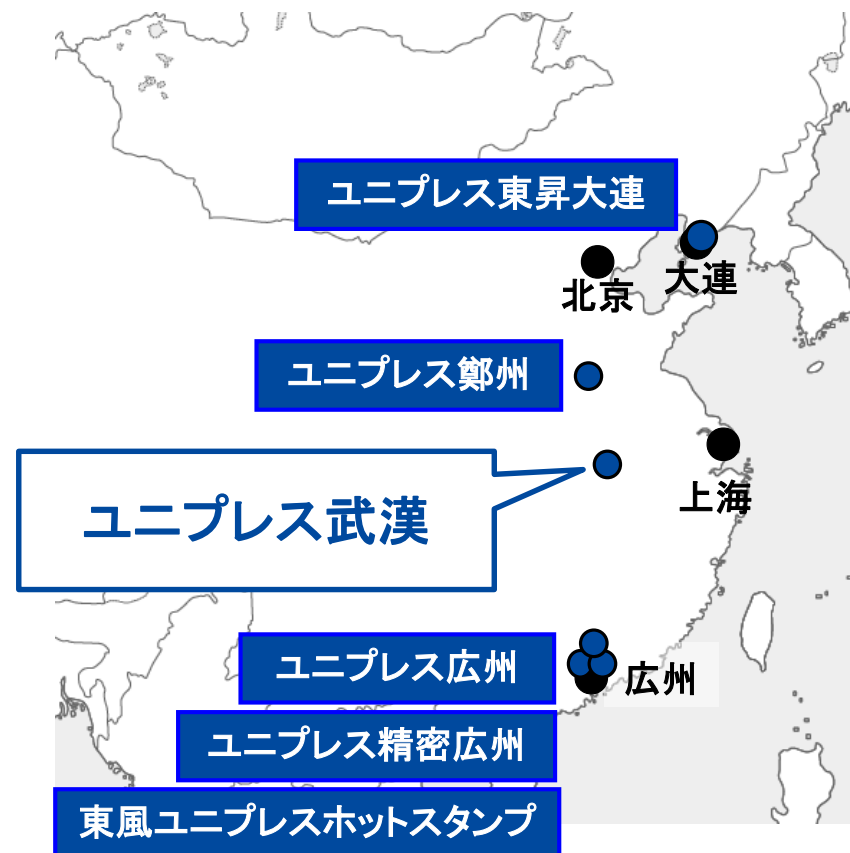


1. グローバル拠点の拡充

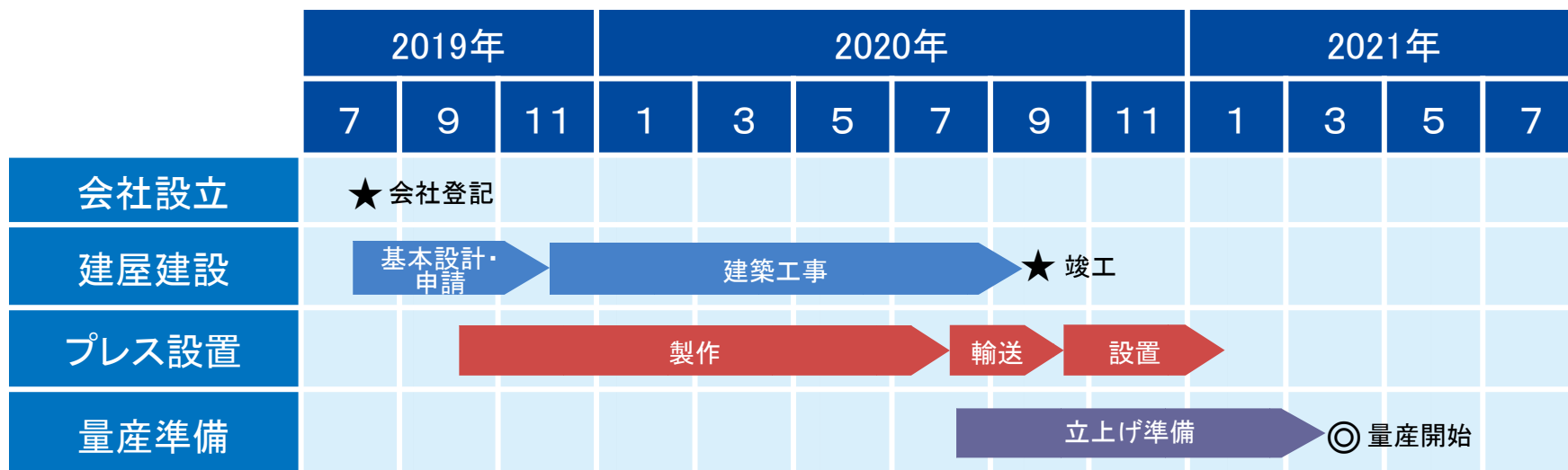
ユニプレス武漢の設立(1)

東風日産・東風ルノーをはじめとした武漢地区の自動車メーカーとの
ビジネス拡大を図るべく、武漢に子会社を設立

	内 容
会社名	ユニプレス武漢会社
所在地	中華人民共和国 湖北省 武漢市
資本金	22,000千ドル
事業内容	車体用プレス部品の製造及び販売
設立	2019年8月
操業開始	2021年3月(予定)
従業員	200名程度
売上高	130億円(2023年度見込み)
投資額	60億円(予定)
工場敷地	110,000m ²
建屋面積	32,000m ²



ユニプレス武漢の設立(2)



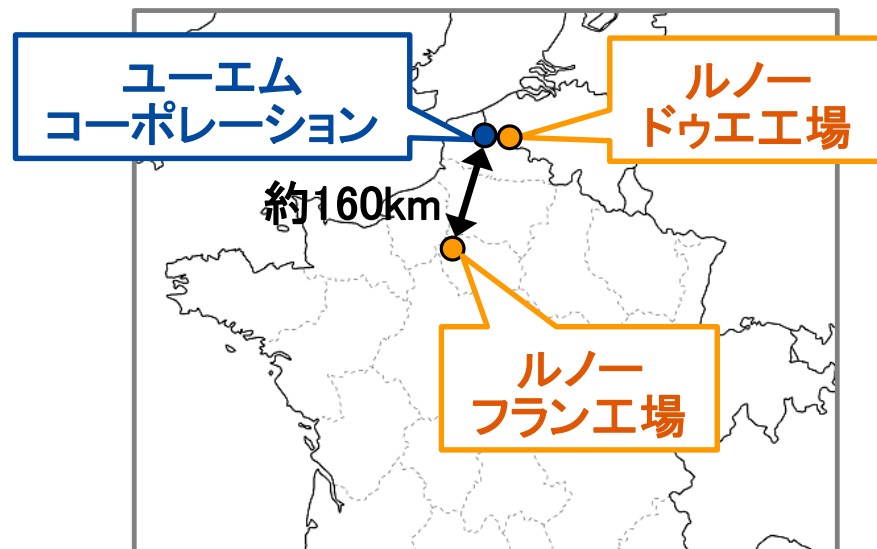
完成予想図



ユーエムコーポレーションの子会社化(1)

ルノー向けを中心とした欧州事業の拡大のため、2019年6月に持分法適用関連会社であるユーエムコーポレーションの株式を追加取得し、子会社化(議決権比率:40%→60%)

	内 容
会社名	ユーエムコーポレーション
所在地	フランス国パ・ド・カレー県
資本金	700万ユーロ
事業内容	車体用プレス部品の製造及び販売
設立	2003年1月
操業開始	2003年12月
従業員	182人(2019年3月末)
売上高	85百万ユーロ(2018年度)
工場敷地	120,000m ²



工場外観



組立ライン

主要設備

- ・1500トン トランスファープレス2台
- ・800トン ブランキングプレス
- ・汎用溶接ロボットライン
- ・1000トン ブランキングプレス
- ・600トン ブランキングプレス
- ・ホットスタンプ(2021年度稼働予定)

主要生産部品

- ・フロントサイドメンバー
- ・リアサイドメンバー
- ・レインフォースパーキングブレーキ
- ・クロスメンバー



フロントサイドメンバー



リアサイドメンバー

主要生産車種

- ・日産「マイクラ」
- ・ルノー「メガーヌ」「クリオ」
- ・シトロエン「C3」
- ・プジョー「208」



マイクラ

メタルテックとの資本提携

三菱自動車の主要サプライヤーである(株)メタルテックとの資本提携を実施。
第三者割当増資により、当社がメタルテックの発行済み株式総数の33.3%を所有し、
メタルテックは当社の持分法適用関連会社

	内 容
会社名	株式会社メタルテック
所在地	本社・名古屋事業所（愛知県小牧市） 岡山事業所（岡山県岡山市）
資本金	1億円
事業内容	車体用プレス部品の製造及び販売
従業員	651名（2019年3月末現在）
売上高	228億円（2019年3月期）
主要設備	・2300t トランスファープレス ・2000t トランスファープレス ・1200t トランスファープレス ・汎用溶接ロボットライン ・ホットスタンプ（2020年度稼働予定）





2. 技術開発

- ・CO2排出規制対応として軽量化
- ・衝突安全性能対応として高強度化



車体部品開発を推進中

1.冷間プレス

- ・高成形性980MPa材適用部品のグローバル拡大
- ・1.5GPa材のフォーム部品の適用拡大

2.ホットスタンプ

- ・生産性向上、低コスト化への取り組み強化
- ・深絞り部品の適用拡大と更なる高強度材の加工技術開発

3.アルミニウムの適用

- ・特に接合の量産化適用技術開発強化

4.樹脂の適用

- ・独自工法を使った適用部品(カバー類)拡大
- ・マルチマテリアル化を想定した車体部品への適用開発検討開始

5.新車開発リードタイム短縮への取り組み

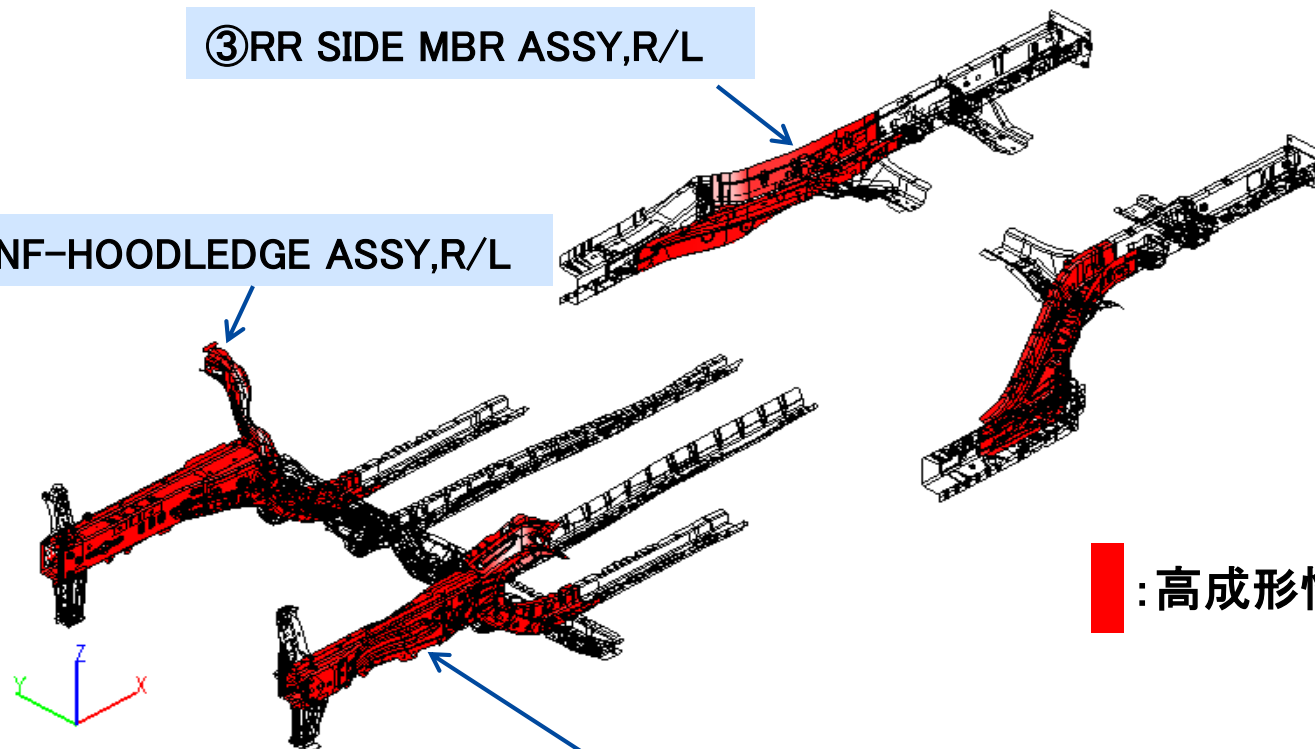
- ・成形解析精度向上に向けたソフト開発

- Infiniti QX50(2018年発売)にて高成形性980MPaを下屋難成形骨格3部品へ採用
- 難成形部品への採用は世界初(2017年度決算説明会にて発表)

<Infiniti QX50 当社受注部品 (メキシコ工順にて量産化)>

③RR SIDE MBR ASSY,R/L

②REINF-HOODLEDGE ASSY,R/L

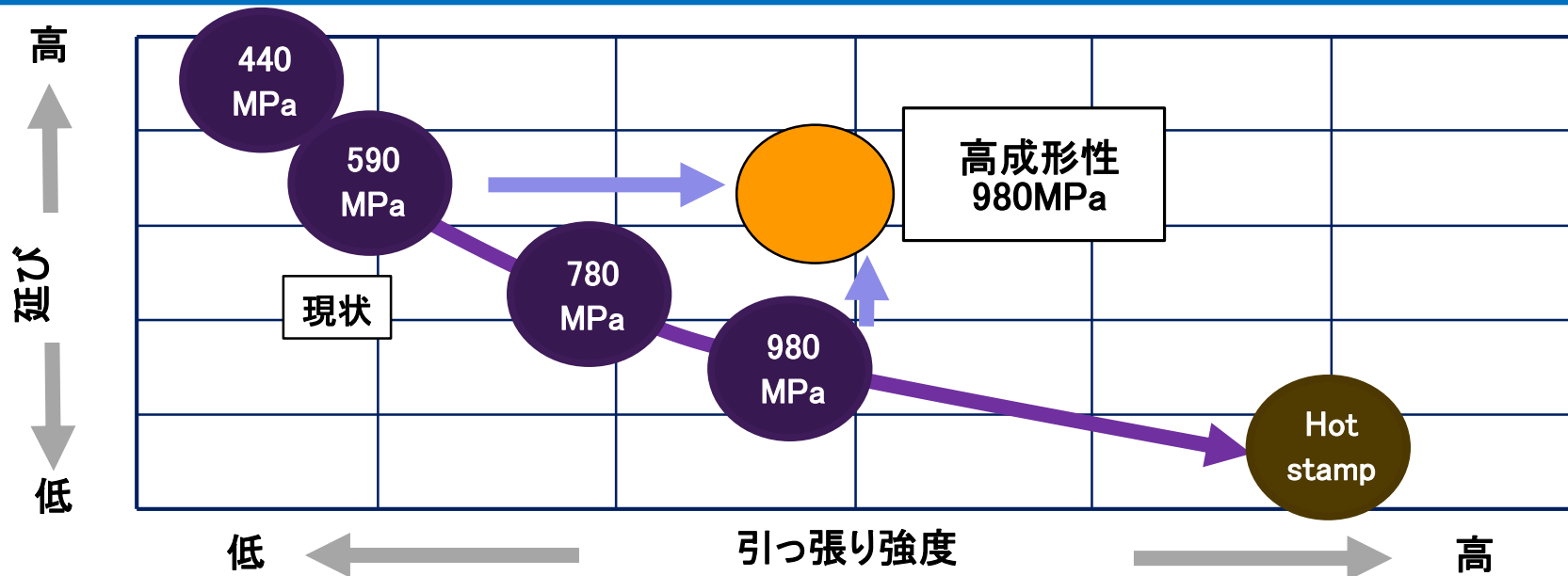


①FR SIDE MBR ASSY,R/L

 : 高成形性980MPa材

冷間プレス（高成形性980MPa材成形技術）

590MPa材と同等の加工性を持つ高成形性980MPa材採用で、より軽量化が可能



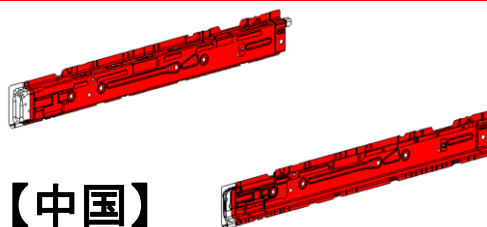
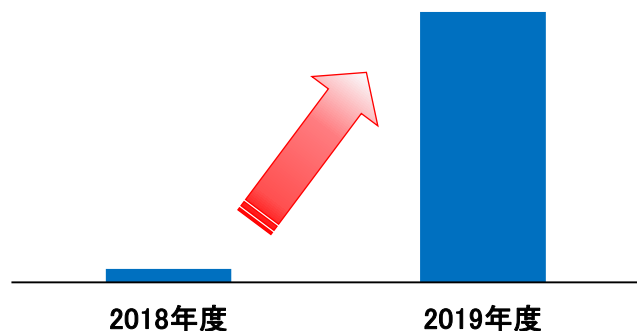
- ・従来の980MPa材比で一般部の伸びは良好
- ・一方端部割れは発生しやすく、トリム加工の工夫や成形技術開発にて解決

	YP[MPa]	TS[MPa]	EL[%]	λ [%]
高成形性980MPa	660	1000	23	25
980MPa	660	1000	15	30
590MPa	406	634	29	65

冷間プレス（高成形性980MPa材成形技術）

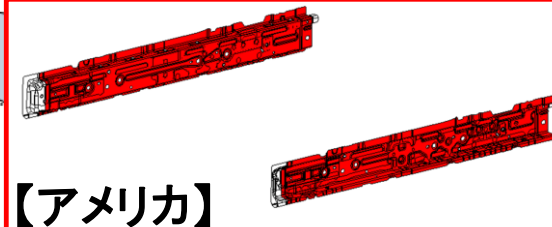
世界で初めて難成形部品へ採用した高成形性980MPaを
グローバル（メキシコ、アメリカ、中国）で拡大展開中

年間生産台数（計画ベース）



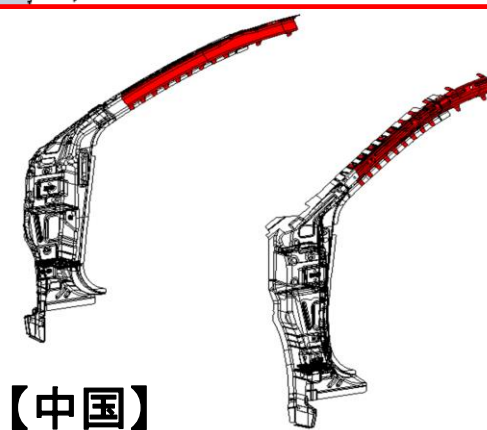
【中国】

Nissan Tiana (2019年度)



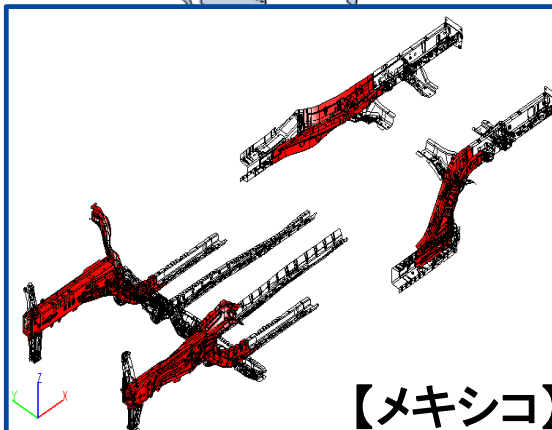
【アメリカ】

Nissan Altima (2019年度)



【中国】

Nissan SYLPHY (2019年度)



【メキシコ】

Infiniti QX50 (2018年度)

■ 高成形性980MPa

ホットスタンプ(導入状況及び計画)

新規受注にともない、新鋭機を導入。グローバルで12ライン保有予定
(~2019年度:6ライン、2020年度:4ライン、2021年度:2ライン ⇒ 計12ライン)

ユーエム
コーポレーション
■1ライン
■2021年度 稼働予定

ユニプレスイギリス
■2ライン(新鋭1・既存1)
■2020年度 稼働予定

ユニプレスアラバマ
■1ライン
■2020年度 稼働予定

ユニプレス九州
■1ライン
■2019年度 稼働予定

栃木工場
■3ライン(新鋭1・既存2)
■2020年度 稼働予定

東風ユニプレス
ホットスタンプ(鄭州)
■1ライン
■2020年度 稼働予定

東風ユニプレス
ホットスタンプ(広州)
■2ライン
■2019年5月稼働済
2021年度稼働予定

ユニプレスメキシコ
■1ライン
■2019年度 稼働予定

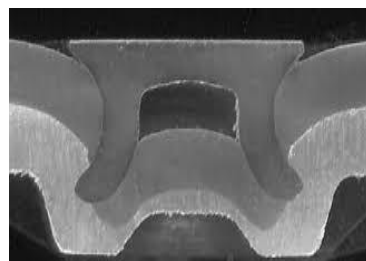
【稼働予定時期】
■ : 2019年度
■ : 2020年度
■ : 2021年度

- アルミプレス成形技術は確立済
- 客先のニーズを踏まえ、接合技術の量産適用の取り組みを推進中
 - ・アルミ-鉄の異材接合技術
 - ・鋳物-板、押し出し-板の接合技術

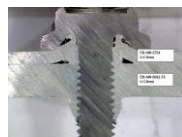
アルミ接合法

溶接	RSW(スポット溶接)
	アーク・ミグ・ティグ溶接
	レーザー溶接
機械接合	SPR (Self Piercing Rivet)
	FDS (Flow Drill Screw)
固相接合	FSW (Friction Stir Welding)
接着	接着剤

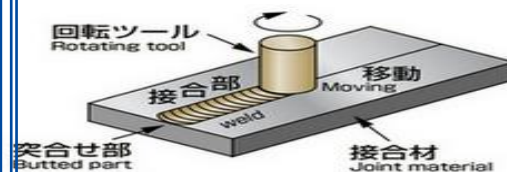
SPR (Self Piercing Rivet)



FDS (Flow Drill Screw)



FSW (Friction Stir Welding)



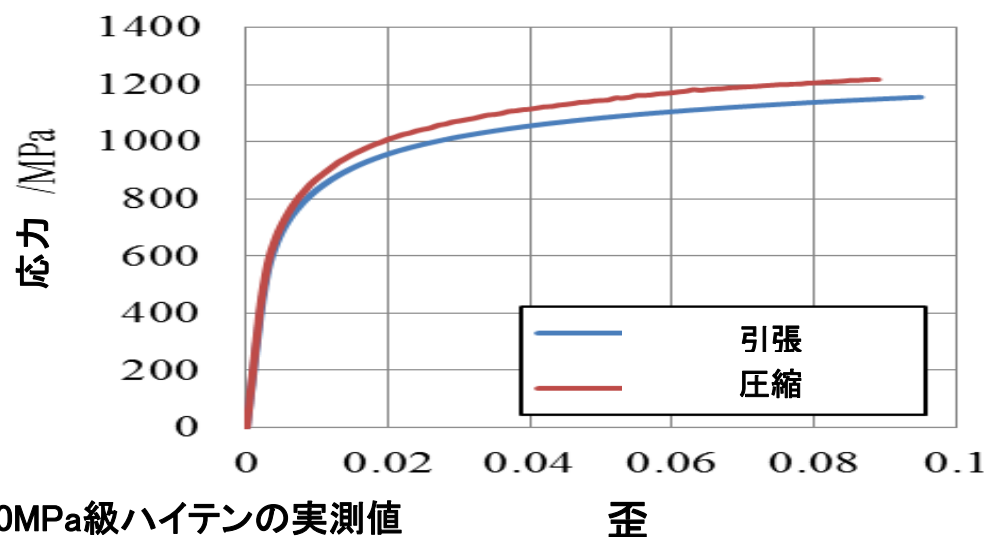
従来の材料モデル

材料の【引張から圧縮】と【圧縮から引張】の
加工プロセスの[応力-歪]特性を同等評価

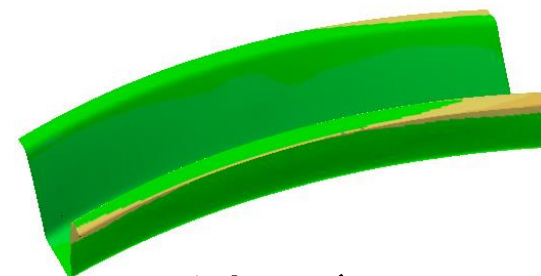


開発した材料モデル

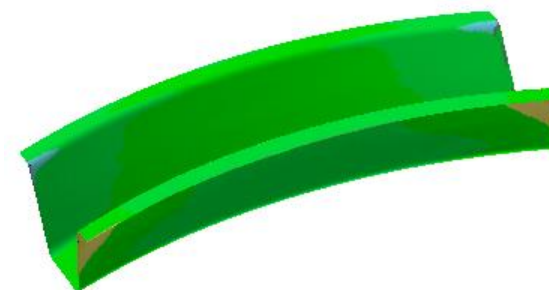
材料の【引張から圧縮】と【圧縮から引張】の
加工プロセスの[応力-歪]特性の違いを織込み



実験型での 合致率検証



従来モデル: 84%



新開発モデル: 97%

解析合致率向上 ⇒ 金型製作リードタイム短縮 ⇒ 金型コスト低減



3. 拡販

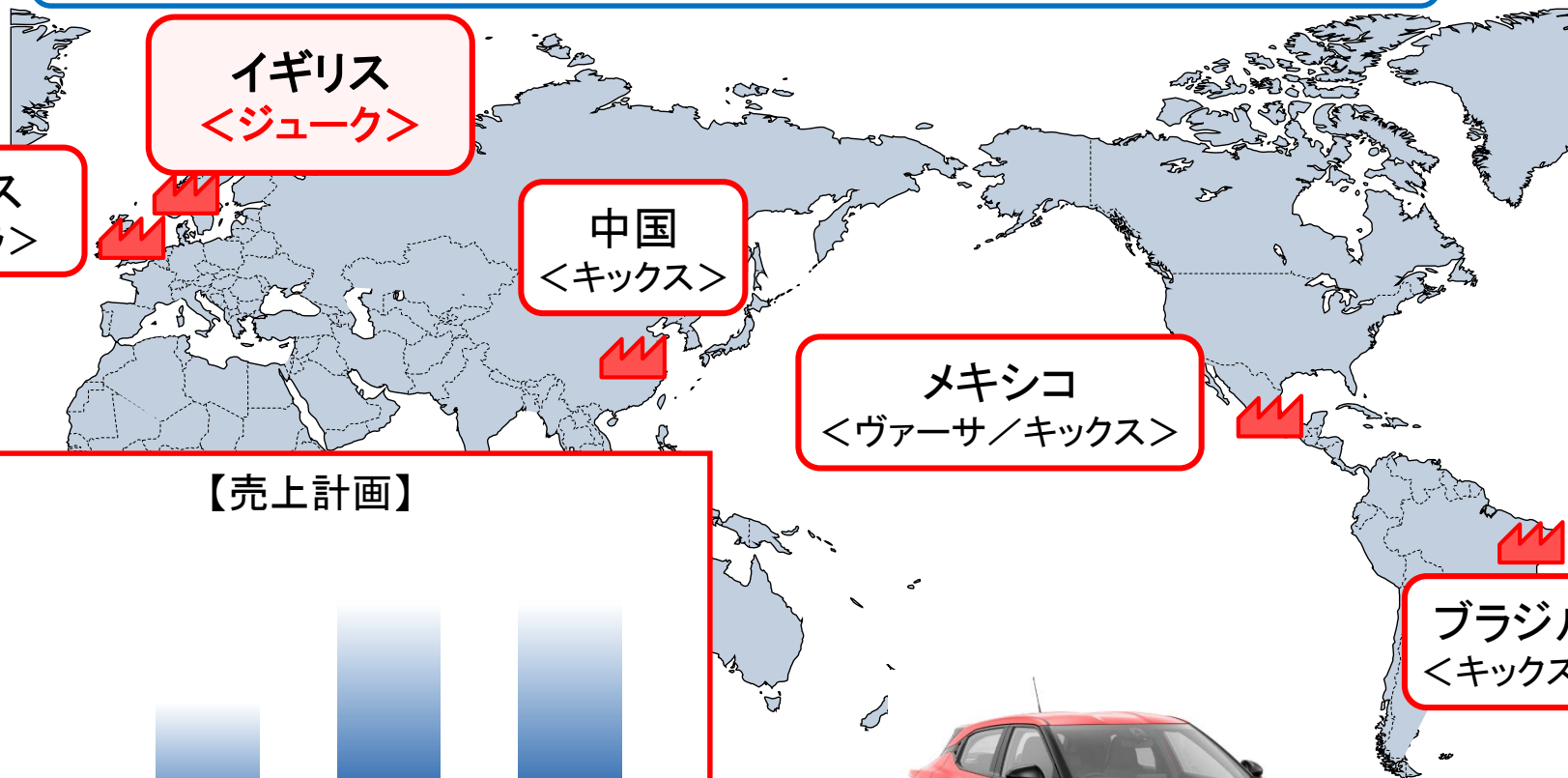


2018年度新車部品の立上げ実績と今後の見通し

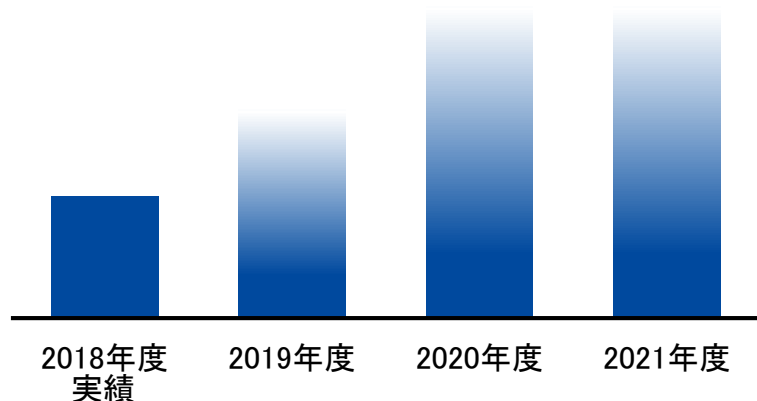
	2018	2019	2020	2021
日本				
米州				
欧州	—			
アジア (中国・タイ・ インド・ インドネシア)				
計	16	20	18	28

コモンモジュールファミリーBセグメント車 受注状況

イギリスで「ジューク」向け部品を受注し、2019年10月から生産



【売上計画】



ジューク

ルノー車 受注状況

2019年6月から「トライバー」をインドで生産開始

イギリス

●カジャー

フランス

●メガーヌ ●クリオ
●セニック ●ゾエ
●タリスマン

中国(東風ルノー)

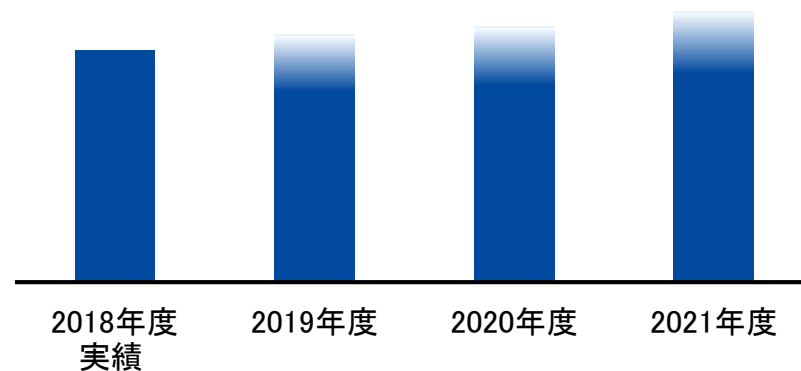
●カジャー
●コレオス

インド

●ロジュー
●ダスター
●キャプチャー
●**トライバー**



【売上計画】



三菱自動車への拡販戦略

資本提携によりメタルテックとより密接な協力関係を構築することで、
日産・三菱アライアンスを中心にビジネス拡販を狙う

【メタルテックとの協業実績】

インドネシア



三菱「パジェロスポーツ」

日本



日産「デイズ」



三菱「eKワゴン」

日産・ルノー・いすゞからの新規受注などにより、2020年度以降インド拠点の売上を確保

【受注車種】



キックス(日産)

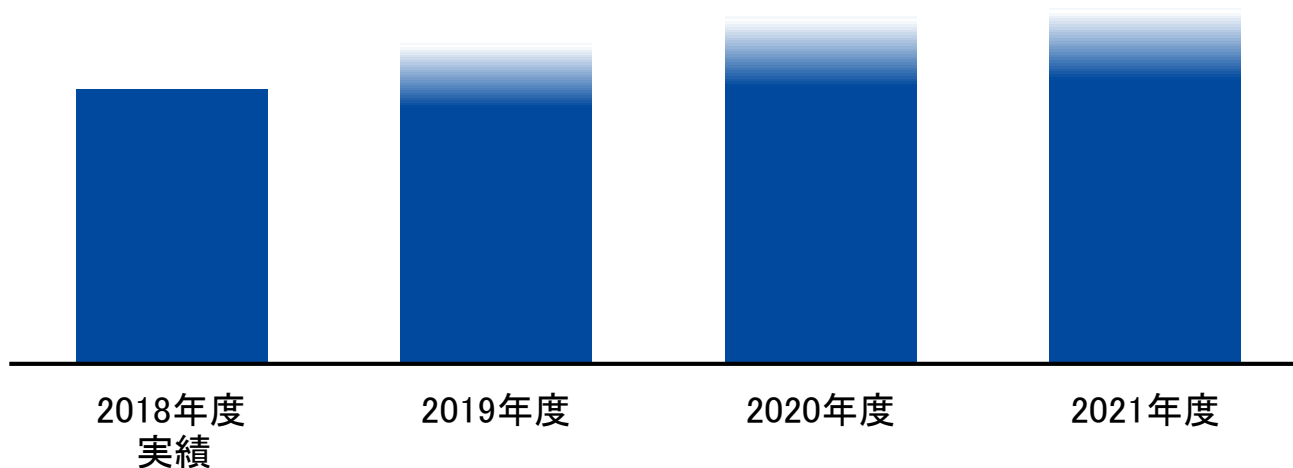


トライバー(ルノー)



D-MAX (いすゞ)

【インド売上計画】





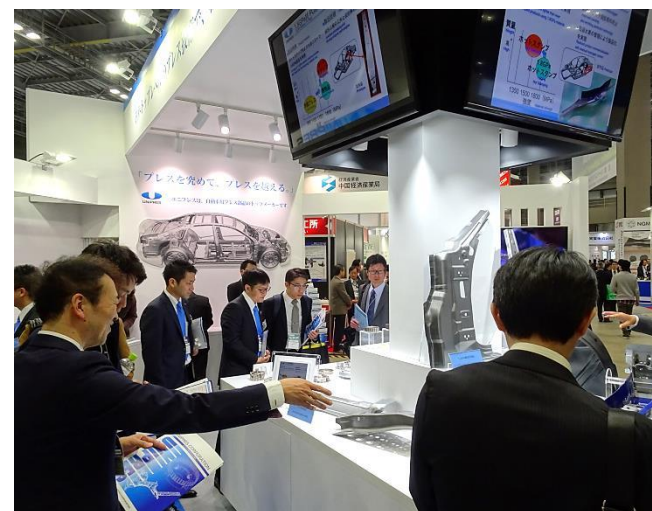
『オートモーティブ ワールド2020』出展

クルマの先端技術分野において世界最大の展示会である
「オートモーティブ ワールド」に3年連続出展を決定



【オートモーティブワールド2020】
会期: 2020年1月15日～17日
会場: 東京ビッグサイト

※写真は前回出展内容





UNIPRES

2019年4月より

「IR情報メール配信サービス」を開始いたしました。

ユニプレスの最新情報をメールでお知らせします。ぜひご登録下さい。

スマートフォンから

二次元コードを
読み取って
登録



パソコンから

ユニプレス
WEBサイト
トップページの
バナーをクリック



一覧を見る > ピックアップ

» 株主優待

» 株価情報

» IR情報メール配信

» お問い合わせ

	2018年度 上期		2019年度 上期		2019年度 計画前提	
	期中平均	期末	期中平均	期末	当初	下期
米ドル	110.71	113.58	108.68	107.96	110.00	105.00
英ポンド	148.92	144.55	142.37	136.53	145.00	129.00
ユーロ	130.66	127.88	124.07	122.46	124.00	117.00
ペソ	5.71	5.60	5.73	5.62	5.70	5.20
人民元	17.01	16.67	16.23	15.68	16.20	14.50
ルピー	1.61	1.57	1.56	1.53	1.50	1.50
バーツ	3.41	3.33	3.49	3.51	3.45	3.45
ルピア	0.0079	0.0077	0.0078	0.0076	0.0075	0.0075

資料取り扱い上の注意

このプレゼンテーション資料で述べられている将来の当社に関する見通しは、現時点で当社が知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいるため、実際の業績はかかる予想と大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。

- ・ 主要市場（日本、米州、欧州、アジア等）の経済状況、消費動向、及び自動車業界得意先メーカー各社の業況・戦略等に伴う製品需給の急激な変動
- ・ 原油価格や鋼材価格の高騰に伴う当社製品製造コストへの影響
- ・ 為替相場の大幅な変動
- ・ 金融・資本市場における金利等の変動 など